京城日報
十九日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價　一部金參錢・壹ヶ月七拾五錢・參ヶ月前金貳圓拾五錢・六ヶ月同四圓[illegible]・壹ヶ年同[illegible]（郵券代用一割增）
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奥山仙三
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話番號[illegible]　振替口座[illegible]
十一月一日發行

發車時刻表 [illegible]

邊境地方宛然刑場
獨新社會黨員コーン氏の演說

獨紙コロン、ガゼツト報道に據れば獨逸議會は軍費豫算を討議し獨立新社會黨員コーン氏は占領地に於ける獨軍の行動を論じて曰く邊境地方は刑場と化し濫用されたる獨兵に依り虐殺されし良民の白骨累々たり戰爭は既にホーヘンツオルレン家の一私事と成れり聯合軍が屈服し而して遂に吾人のみが歐洲の戰士として殘る事は可能なる可し然れども其時の歐洲大陸は乞食の大陸とならん』とコーン氏が獨兵に就て述ぶるに當り社會黨員は盗賊殺人者と叫びたり尚中央黨員全部保守黨員の大部は議場を去れり（アムステルダム電報）

米軍獨領戰線維持

米軍は獨逸の領土内七哩に入れる新戰線を維持し居れり（倫敦電報）

講和運動風說熾ん

アムステルダムにては獨逸の講和運動風說益々熾烈となれり（倫敦電報）

墺軍陣地占領公報

墺國公報は主張して曰く『我軍はピアヅエ及びオデル河とレヴインの鐵道を跨げる廣汎なる戰線に於ける敵の陣地を占領しモンテロ東端の敵防禦工事を奪取しピアヅエに於いて俘虜一萬人砲五十門を鹵獲したり我軍はブレンタを越ゑて行へる最初の襲擊に敵の第三陣地を突破し六千人を生擒したり』（倫敦電報）

西伯利亞出兵意思披攊
我政府米國に對して

十六日の華盛頓タイムスは曰く『日本政府は近く米國政府に對して西伯利出兵に關する日本政府の意思を披攊し併せて右に對する米國政府の態度表明を要求す可し』（紐育電報）

電氣社員赤衞軍參加拒絕
ニコリスク市電氣會社燒失

ニコリスク勞兵會は同市の電燈會社使用人等に武器を渡し赤衞軍に參加すべく命令したるに彼等は是れを拒みて逃亡せり尚同社は火を失し建物燒失せるより市中爲に暗黑と爲れり（浦鹽電報）

チエツクスラバツク族鐵橋占取

チエツク、スラバツク族はペンザより驅逐されたる後シヅラン近く前進しヴオルガ河に架せる西伯利鐵道の主要線たる大鐵橋を占取せり（莫斯科電報）

セ軍國境通過禁止

滿洲里支那官憲はセミヨノフ軍の國境通過を禁止せり（哈爾賓電報）

亞細亞銀行組合組織
目的は支那に於ける國際銀行業

一部の銀行は今回亞細亞銀行組合を組織せるが右は資本金二百萬弗にして目的は支那に於ける國際銀行業を行はんとするにあり追つて西伯利にも及ぼす可しと（紐育電報）

北京軍事會議開會

北京軍事會議は二十日より開會の筈にて倪嗣冲曹錕兩氏の上京を待ちつゝあり（北京電報）

三省聯合計畫

唐繼堯氏は政治經濟教育問題に就き雲南貴州四川の三省聯合を計畫しつゝあり（北京電報）

東京市正副議長

東京市會議長には中野武營氏同副議長には鳩山一郎氏當選す（東京電報）

尾藤金谷兩少將

尾藤侍從武官參謀本部員金谷少將外十八名は十八日北方より來奉十九日朝青山陵に到りて戰蹟視察を爲し尾藤少將は一行より別れて奉天に引返へし十九日夜襲の安奉線にて平壤に直行す可し（奉天特電）

井上博士講演

井上哲次郎博士は十九日午前十一時來釜午後三時ゟ公會堂にて二回に分ち生徒及市民の爲に講演を爲せり（釜山特電）

柿内潛銀專務

潛業銀行專務理事柿内常次郎氏は十九日朝釜山通過北京へ直行せり（釜山特電）

地税令改正に就て（二）
鈴木度支部長官談

二、土地調査事業の開始及び之が効果

土地調査事業は總經費二千餘萬圓を以て明治四十三年度以降約九箇年度の繼續事業として著手し事業を調査、測量に大別し調査事業としては土地の疆界及び所有主を調査して土地所有權を查定し且土地の收益を調査して

▼地位等級を　查定し地税賦課の基礎を定め又進んで面洞等は境界を調查し以て行政區劃を整理せり此の他測量事業としては土地の所在及び面積を查定するが爲各筆地に就き其の疆界を測量し且測量の正確を期するが爲大三角小三角測量及び圖根測量を施せり如斯して土地の地目、等級、地價、地積及び所有者を確定し土地臺帳を作製し又土地の所在、疆界及び行政の區劃を查定して地籍圖を作製せり本事業は長日月に亙りて順次各地に施行し從て各地其の事業完了期を異にせるを以て一府郡島の土地臺帳及び地籍圖を

▼完成する每に　之を當該府郡島に施行し可及的速に土地調査の効果を一般に利用せしむる方途に出でたり大正三年以來漸次各地に實施し本年春季に於て既に朝鮮全土の土地調査を完了し土地臺帳及び地籍圖の實施を終れり茲に於て多年紛亂錯綜したる土地の所有權及び疆界は判然明瞭なるを得殊に不動産登記令の施行に依り土地所有權の保障を安固にし土地に對する企業及び取引を容易ならしむる等土地の利用を增進し土地價格を昂上し一般經濟の發達に至大の便益を與へたるは疑なき處なり加之土地の種別、地力、面積、農產物の種類等土地を精確明瞭

▼利用の狀況　ならしむるに至りたるを以て將來勸業土木等各般の施設を便利にし其の振興に資すること頗る大なるものあるべし

三、地税制度の沿革

朝鮮に於ける地税制度の濫觴は遠く高麗朝の末葉に在り其の後幾多の變遷を經て今日に迨べり從來の地税は今を去ること約五百年前に於て設定したる結數を課税標準とし元來物納なりしを明治二十七年各地の穀價を調査して道別に一結當税額を定め之を結價と稱し金納制に改め以て今日に至れり然るに當時穀價の查定頗る

▼正鵠を失し　結價の決定亦其の當を得ず之が爲結稅負擔の不衡平をして愈々大ならしめたり加之地税臺帳たる量案は二十年毎に各土地を調査測量し改訂せらるゝの制なるも殆ど其の實行を見ず地積の增減地目の異動等毫も整理せられず從て量案所揭の事項と其の實際とは常に一致を缺き臺帳の用を爲さゞるを以て勢ひ每年徵税期に於て結稅賦課及び其の納稅額を調査するの制行はれたり之を作伕と稱す作伕の從事員は吏胥の大官若は土豪等の權勢を憑り土地の結數を擅に增減[illegible]るのみならず甚しきは中央政府に隱して結數を詐稱し其の稅額を私服するを常とするに至れり之を

▼隱結と稱し　上下[illegible]なく其の賄賂に擢くべきものありたり李朝の中葉に於て全國の結數百五十餘萬結を算したるに光武八年（明治三十七年）に於ては九十餘萬結となり約五十餘萬結を減少せり作伕の弊如何に大なるものあるかを知る可し

時刻改正七月一日
鮮鐵各支線列車增發速力增加確定
‖本線混合列車の改善‖發表近し

滿鐵京城管理局にては本線急行以外各線の列車運轉時刻並に列車增發を行ふ事となり來る七月十五日より實施の豫定なりしも運輸課に於ける諸準備大に進捗せしを以て目下總督官房鐵道局に申請中の認可あり次第直ちに發表七月

一日より實施の事と確定したり改正の主眼は各線混合列車の速力を增加し並に列車增發を行ふにあり旁々一般の便宜少なからざるべきがその內容に付聞する所によれば左の如し

▲京釜京義線　京釜京義の本線にては別に列車の增發を行はざれど混合列車の運轉には大改善を施し乃ち既報せし如く旅客本位の混合列車と貨物本位の混合列車の二に分ち前者は速力の大增加を圖り設備の改善各驛停車時刻短縮等全然面目を革めしめ急行列車の乘客を此の旅客本位混合列車に吸收せんとするにあり又貨物本位の混合列車は從來と略大差なき模樣也

▲湖南線　湖南線にては數年に亙り工事中なりし改修施設が竣成に近きを以て勾配並に橋梁等の關係上頗る遲緩なりし同線列車の運轉に速力を加へ乘客の滿足を買ふべく而已ならず裡里群山間現行の四往復を五往復とし乃ち一往復增　又裡里松亭里間も乘客增加の現狀より見て一列車の往復を增加する事となりたり

▲京元線　京元線にても運轉速力を加へしむるは勿論にて從つて京元間の運轉時刻は短縮せらるゝ筈なるが更に目下の京元間直通列車は元山より京城まで二列車あれど京城より元山までは直通一列車にして他は福溪までの區間列車となり京城より元山に向ふ者に不便ありよつて京城より元山へ二列車の直通を斷行する事となりたるは特異の改善なり

▲平南線兼二浦線　平壤鎭南浦線並に兼二浦線は久しく同地方より列車增發の請願交渉ありしが今回兩線共に之れを容れ一列車宛を增發する事となりたり又事實上平壤鎭南浦の發展と兼二浦製鐵所開業後の發展は現在運轉列車のみにては不足し居れりと要するに滿鐵京城管理局今回の時間改正及び列車運轉數の增加は時勢の進運乘客激增に對應する施設なるが一般交通上殊に地方側の要望は全く容認されし譯にて各種の便宜多かるべく殊に京釜京義本線に於ける乘客本位混合列車の運轉は自然現急行列車の補[illegible]を分[illegible]すべきなるべし

法院出張所設置
豫定個所設置終了

七月一日より咸鏡南道三水郡、甲山郡、咸鏡北道明川郡、鏡城郡、穩城郡、平安北道楚山郡、厚昌郡、龍川郡、江界郡、慈城郡、渭原郡の十一郡に對し朝鮮不動產登記令を施行し此の中江界郡のみは其の所轄地方法院支廳をして取扱はしめ他の十郡には何れも其の郡廳所在地に地方法院出張所を新設し公證事務に併せて當該事務を取扱ふ旨府令を以て二十日發布さるべきが今回發表の分を以て朝鮮に於ける地方法院出張所設置を豫定したる個所の全部（百五十九箇所）を終れるものなりと

拓銀創立委員
二十日頃發表か

朝鮮拓殖銀行創立委員は十五日頃發表を見る筈なりしも內地よりの回答暇取り延引し居たりしが此程其筋に回答到着せるを以て二十日頃には發表の運びに至る可しと

辭令

十八日附左の通り辭令ありたり

總督府道事務官　陸軍步兵少尉　田尻生五
任總督府事務官（七等）農商工部鑛務課勤務を命す　同試補　三木進一郎
同　松澤國治
任總督府道事務官（七等）咸鏡北道在勤を命す　同道事務官　三木進一郎
全羅北道在勤を命す　同　松澤國治
任臨時土地調查局副事務官（六等）　同地副事務官　佐久間信治
通譯生　總督府書記　白允和
任總督府判事（八等）補釜山地方法院統營支廳判事

陞敍

陞敍高等官五等（六月十五日附）　總督府技手　權泰銓
依願免本官（十八日附）

黒鉛界銷沈

平安北道地方に於ける黒鉛は大口取扱者以外生產の盛期に入らんとする際より價格は生產過剩と在荷豐富の原因にて暴落し良品噸四百圓を割らんとするに至りしを以て取引は杜絕の姿となりために小資本家は一時行詰りたる融通資金に頗る困難し金融逼迫市況銷沈著しく休業者多しと（平北道臨調査）

繩叺生產並に包裝荷造（二）

併し內地四斗叺は總て縱繩四十筋（總督府の標準より二筋少なし）幅は同く二尺八寸なるも長さは五尺八寸（總督府の標準より三寸長し）なるも實地に就き

▲荷造を試驗　するに吾組合製叺は長五尺五寸にて十分なるも西鮮地方の如き原料藁硬く藁打不十分にして單に叺の織込のみ厚く打込みたる叺は五尺五寸にては少しく短き感あるのみならず地質厚く硬き爲め口の卷込意の如くならず折曲の箇所嵩高となり延びて繩掛け又完全を期する能はず輸送の途中自然叺の卷込み折曲げの兩端弛頭し漸次ホツレを生じ其箇所より脫漏しつゝあるものあり又叺厚くして硬く卷込折曲げ困難なるものは卷込み甚しく粗雜のものありて一見如何にも

▲叺の短きが　如き觀を呈し居るものあり是畢竟總督府の示されたる標準寸法の短き爲めにあらずして原料藁粗惡なる爲め藁打容易ならざると單に重量に重を措き織込のみに力を用ひ地質の厚くして硬き叺を作ると縱繩及び耳の親繩縫繩なぞは藁質硬直なる爲め所謂ヒキ力なきとに基因するものなり、更に如此傾向を招致したる一大原因は予が實驗上常に唱道しつゝある氣候風土の關係上全然繩叺の原料に適せざる地方に於て南鮮地方同樣極端に獎勵しつゝあるものと未だ收穫時季に於て其收入乾燥貯藏十分ならざる變質藁を使用すると共に或地方の檢查標準が原料藁皮び其藁打縱繩縫繩などに比較的注意を拂はず單に

▲量目と地織　のみを唯一の基準とし織目に指頭を差込み其厚薄に依り叺の良否を識別するが如き量目本位の幼稚なる檢查方法を行ふ傾向あり爲めに生產方面は自然是等の制裁を受け全然叺は量目に依り其良否を識別せんとする徵候の漸次瀰漫せんとする傾向あるは憂ふべき現象にして斯くては遂に予等最も貴ぶ彈力ある叺は影を沒するに至らん之れ最も留意せざる可からざる緊要事なり、元來叺の破損は少しく經驗あるものゝ識る如く耳縫ひ繩の綻びと縱繩の切斷とを主とせしものが近來叺の口縢り卷込折曲の不完全なるを殊更らに指摘せらるゝに到りたるは全く厚く硬きゴツ〱したる量目本位の叺の缺點なり而して吾人の理想と要求は原料藁の選擇に重を置き藁打

▲耳縫に注意　し叺地の厚薄の如きは寧ろ檢查規則第六條に明示せる構造完全なるとある法意を尊重し量目は七八百匁もあるが如きものは避け六百匁乃至六百四五十匁を標準とし最も彈力に富む叺にありて此標準に適合するものは敢て現今のもの以上長くし殊更に卷込折曲の箇所の弊に陷るの要なしと信ず（全南繩叺販賣組合理事阪本山毅氏談）

大同江下流水路調查

鎭南浦より河口方面は江流の押し流す土砂のため砂洲の位置大に變動し現下海軍省水路部發行の海圖は變更著しく汽船航行上危險なるを以て目下水路部にて實測を進め居れり

大田新驛開業期

滿鐵京城管理局にて建築中なりし大田停車場は既に竣工せしを以て來る二十日より新驛にて營業を開始する事となりしが諸設備最新式に則り階上には和食を主とする食堂を開設する由なり

慶南銀行支店認可

株式會社慶南銀行に對し慶南河東郡河東面に支店設置の事を六月十四日附認可されたり

金剛山自動車到著

滿鐵京城管理局にて金剛山往復用として用ふべき自動車六臺は最近到著十八日組立てを終りしに付近く發送すべしと

古海中將總監招待

古海憲兵隊司令官は十九日正午入京中なる隈主計總監を主賓とし朝鮮師團長外數氏を陪賓とし立花ホテルに於て招宴を催ほせり

隈經理局長歡迎

柳川人會は目下入京中の隈陸軍主計總監に對し歡迎の意を表する爲め十九日午後八時半旅館なる大觀亭に會して招待宴を張る由出席希望者は至急本町青々園茶舖（電千百十一番）に申込まれ度しと

警務總長出張

古海警務總長は赤澤副官外二名を隨へ平安北道管內各隊署巡閱の爲め二十日午前九時五十分發同地方に出張七月五日歸任の筈

倉知鐵吉氏入京

中日實業重役倉知鐵吉氏は十八日午後七時二十五分南大門驛著列車にて入京したり

高瀨理事入京

久しく東上中なりし東拓理事高瀨梅吉氏は十九日午前九時二十五分南大門驛著入京せしが兩三日滯在の上奉天に歸任すべしと

佐藤軍醫部長出張

軍醫部長佐藤恒丸博士は部隊衞生業務查閱並に衞生材料定期檢查の爲磯部三等藥劑正和田二等軍醫を隨へ十八日龍山出發元山羅南咸興會寧地方へ出張せるが七月四日歸任の豫定なりと

森田代議士罹病

鮮滿視察團一行十二名は既報の如く十八日奉天發平壤鎭南浦を經て二十一日京城著の豫定なるが一行中の森田茂氏は安東に於て罹病したるを以て單獨先發し十九日午後七時二十五分南大門驛著直ちに總督府醫院に入院すべしと

入澤第一部長微恙

入澤京畿道第一部長は微恙の爲め十九日自宅引籠中

大邱

▲井上博士講演會　井上圓了博士は來る廿五日午後來邱二十五日（夜）在鄕軍人集會所における各宗聯合會主催講演會二十六日（夜）大邱公立小學校同（夜）東本願寺にて講演をなす豫定なるが同博士の揮毫を望む向は豫め大邱東本願寺若くは堺田商業會議所書記長迄申込むべしと▲乘馬會成立　大邱步兵第八十聯隊長齋藤大佐同憲兵隊長大橋中佐主唱となり大邱乘馬會を組織し官民を問はず入會せしむる事となし十六日發會式を兼ねたる試乘會を水源地に於て催ほせり▲禁酒會發會式　吉武甲子男氏等の發起にて大邱禁酒會設立せられ十六日午後大邱在鄕軍人集會所に於て發會式を擧行したるが入會者は五十八名にして會長役員左の如し
（會長）吉武甲子男（副會長）河村傑三郎（幹事）手塚包次郎、下石幸也氏（評議員）十一名

群山

▲役員選擧　群山商業會議所評議員總選擧の結果確定當選議員の氏名は既報の如くなるが其後役員の選擧に關し各議員交涉を重ね十七日午後八時より會議所會議室に於て第一回評議員總會を開催し役員選擧を行ひたるが出席議員十一名投票の結果會頭大澤藤十郎、副會頭稲田義達、常務委員横山與市、花岡鶴松、牛尾正一氏等當選せり▲米商漁遊會　群山米穀商組合にては群山及び附近官民百餘名を招待し[illegible]船數隻を艤裝し發動機船にて竹島近海に到り鯛の網漁遊を爲すと共に現場にて潑溂たる鮮魚を調理して來賓に饗し一日の清遊を試むべく企畫中にて時日は六月末ならむと▲井上圓了博士來群　南鮮各地巡講中の井上圓了博士は十八日午前十時群山著列車にて來群午後四時より群山教育會主催となり群山小學校に於て午後八時よりは各宗寺院主催となり東本願寺に於て講演を爲したるが何れも聽講者堂に溢れ盛況を極めたり

▲總督府電話交換手募集　[illegible]にては年齡十五歲以上二十歲迄にして身體強健京城府內に確實なる身元保證人ある者を採用する由なれば志望者は自筆の履歷書携帶の上[illegible]局會計課に出頭すべしと

▲鍾路安國洞間道路取擴　鍾路安國洞間の道路は[illegible]より安國洞間の道路を鍾路通りと同樣に取擴の事に決定し近く工事に著手の筈

人事消息

▲中村工兵中佐（滿鐵交通部員）十九日朝奉天より入京▲關大邱覆審法院檢事長▲柳澤大邱地方法院長▲鈴木釜山地方法院長▲淺田公州地方法院長▲森浦公州地方法院檢事正▲花田光州地方法院檢事正▲大村光州地方法院長▲赤井海州地方法院長▲佐々木海州地方法院檢事正▲島山平壤覆審法院檢事長▲前田平壤地方法院長▲關口平壤地方法院檢事正以上十九日朝退京歸任
▲鹽澤京畿道[illegible]　十九日朝[illegible]へ
▲青木農務課長　十九日朝大邱より歸任
▲廣江澤次郎氏（實業家）　十九日朝[illegible]の豫定にて神戸へ
▲松井元山稅關長　十九日退京
▲後藤瑞巖師　大邱金山寺[illegible]地方巡錫の爲め十九日朝出發
▲關根白念氏（朝鮮新聞社記者）　病氣の爲め退社當分閑地に就き靜養
▲永井彰義氏（大阪朝日新聞臨時浦鹽特派員）　此程浦鹽より元山著十九日午後十一時入京の筈
▲信川鍵毅（咸興聯隊長）　二十日朝赴任

□北海道まで（七）
東京にて　天民生

夕方散步に出ると神田の中西屋[illegible]店の横大道係に新聞賣が立つて居る人は固より變つて居るが馴染の新聞賣で、よく夕刊を買つたものである。所が今は地方の新聞をウンと持つて居る、大抵のものはあるが一枚三錢だつた、至極調法なことだと思つた。舊の南明館と云ふ勸工場の跡に、御粗末ながら圖書陳列館が出來て[illegible]籍を部門別に並べて居る[illegible]內容は極めて貧弱ではある[illegible]善い。神田には隨分古本屋[illegible]が、陳列が散漫で、盲探しの不經濟が少くない、之は非常な缺點であると思ふ。

御安著の祝辭言上

霞ケ關離宮へ御使御差遣

◇隨員ホ中將以下に敍勳の御沙汰あり

コンノート殿下には十八日正午霞ケ關離宮に成らせられ東伏見宮殿下英大使グリーン氏等と御安著祝賀のシヤンペンを擧げさせられたるが天皇陛下には午後二時川村元帥をしてホルトニー中將に勳一等以下隨員一同に敍勳の御沙汰を傳へしめられ更に戸田式部長官を御差遣あり御安著の祝辭を言上せしめ給へるが殿下には午後三時隨員を從へ御微行にて三越吳服店に成らせられ妃殿下の爲に組紐下の御買上げあり四時半御歸還ありたり（東京特電）

◆コ殿下大廟へ　＝廿八九日頃＝

コンノート殿下廿八九日頃伊勢大廟に御參拜の豫定なりと（大阪特電）

祖國に歸る喜びの顏

＝に、長途の疲れも見せず

伊太利俘虜三百六十餘名入京

◇カーキー色の粗末の服＝『日本人に似てゐる』一下士曰く『與國に鉾が向けられるものか…』

十九日朝十時二十二分南大門驛に著いた貨物列車は露國から本國へ送還される伊太利の俘虜三百六十餘名を載せて來た、一行はカーキー色の何の飾りもない粗末な軍服に身を包んで長旅の疲れも見せず久し振りで

▽祖國に歸る　喜びの色を晴々した顏一杯に漲らせお國言葉でペラ〳〵喋舌りながら最う嬉しくて嬉しくて堪まらぬと云つた風である、汽車が南大門驛に著くと何れも言ひ合したやうに手拭や石鹼などを取出しプラツトフオームの洗面所で顏を洗つたり洗濯をしたり中には寫眞で見た

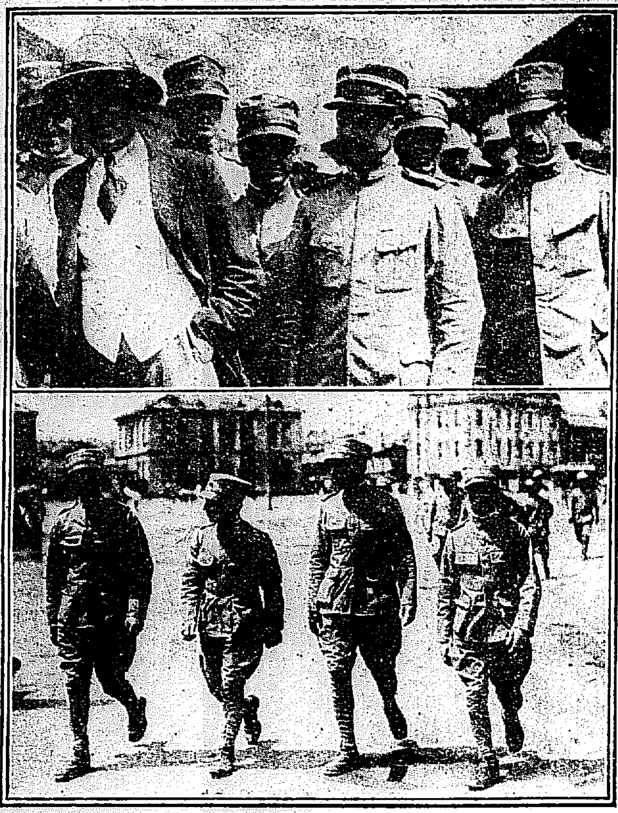
▽ダヌンチオ　北歐の男も居る流石に此處は構內のことゝて見物の彌次馬は這入つて來ぬが改札口では折柄の待合客が遙かに此體を見て『や俘虜だ〳〵』『日本人に好く似てゐる』と大騷ぎである一行の中將校は十六名最上官は

▽騎兵大尉で　この外在北京の公使も亦輸送の爲め來てゐる下士らしい人を取つ捉へて話しかけると多くを語らず唯だ一語々々は墺國の捕虜になると間もなくガリシヤ方面の戰線に立たせられた然し相手は君御承知の露國だらう何うして

▽與國に鉾が　向けられるものか卽ち自ら進んで白旗を揭げた譯さね』と下手な英語で話したぎりサツサと車室に雲隱れした洗面が濟むと發車迄大分の時間があるので大抵は靴を綺麗に磨つた上三々伍々打ち連れ市中見物に出掛けた繪端書を買込む者や菓子に

▽札ビラを切　るもの又始めから其麼ものは見向きもせず酒屋に飛込んで麥酒の喇叭飮みに溜飮を下げる上戸もあつて頗る異彩を放つたが正午過ぎ迄には全部歸つて來て市中見物の感想談に花を咲かせ正一時ピーツと云ふ汽笛を合圖に躍る胸を乘せて南下した

▽釜山に一泊　伊太利俘虜兵一行は十九日夜大田に於て乘替へ廿日午前十一時五分釜山著一泊の豫定にて同行の筈なりし北京駐剳伊國公使カロル・アルオツチ氏は十八日夜入京朝鮮ホテルに一泊し十九日午後七時五十分發列車にて南下の筈なるも鐵道局との交渉確定せざる爲め出發時期未定なりと



◆京城を通過した伊國俘虜（上）背廣は北京駐在の伊國公使其右は騎兵大尉（下）市中見物

毒瓦斯豫防器

各師團にて試用研究す

陸軍技術部の註文に依り東京砲兵工廠にて始製したる彈丸除けの鐵冑及毒瓦斯豫防の防毒覆面を各師團にて試用研究の由なり（大阪特電）

二囚徒溺死

河原にて作業中

◇自殺か過失か

平壤監獄にては十五日囚徒十數名を看守が引率して平南線普通江鐵橋附近の河原にて砂取作業に從事せしめ居たる內同日午後四時頃二名の囚徒が

▲行衛不明　となり居るを發見し極力捜索せしに作業場より下流約二十間ばかりの江中に溺死體となり居るを發見せり一名は平北定州郡海山面二里生れの金部洙（三）と言ひ強盜傷人罪にて

▲服役中の　もの他の一名は平北定州郡東面鳴鶴里生れの李龍洙（三）といひ兩名共同名の者にて同人は放火罪に依り入獄中なるが兩人共自殺を企て入水したるものか或は誤つて溺死したるものか原因確かならず

相撲雜記帳

◇巡業相撲と八百長

八百長をする奴は片端から叩き出す

峻烈なる力士取締り法

これには力士連は皆悔々してゐる

◇……東京相撲にしろ大阪相撲にしろ、相撲の地方巡業といへば、地方の人は一概に八百長をするものだと思ひ込んでゐるらしい風がある、尤も皆が皆八百長と思はないまでも、加減に取つてるだと思つてる人が多いらしい、殊に幕の內の相撲で少し立合が縺れてでも來ると、一寸如何つたか振りな發掛して『ハハー彼奴八百つてるナ』なんと獨りで定めて得意氣に手口の說明などをする人がある、誠に困り果てた手合である

◇……以前合同巡業の時分には御つて、變手古なのが多少あつたものだが、三四年分離巡業の制度から、不思議なもので、各組合自身が痛切に其の弊を覺つたものか、力士に對する嚴しい制裁法を設けたり、或は獎勵の途を講じつゝあるために、近頃ではそれが習慣になつて、所謂八百長といふものは殆んど跡を絕つたらしい、卽ち八百長相撲が地方巡業に行はれる時代は、已に去つて終つたのである。

◇……この八百長防遏に就いて最も骨を折つたのは、入間川と出羽ノ海で隨分峻烈を極めたものであることを見聞してゐる、更に近い所では今度來た峰崎、花籠の率ゐる一行で、この組合でも力士の取締りに就いては可なりの努力をしてゐる、その方法としては、先づ口ごころの坊主の取組からして若者頭と稱する力士の監督者、或は手際の行司が鋭を取る帳面を持ち出して一々記し上げてゐる、若し許しな相撲を取つたり『どうでもいゝ』的の立合をなしたりすると

◇……『此の野郎、何を寢ぼけてやがるんだ、鈍間奴！』と直ぐその場で頭ごなしに罵倒された上に呼びつけられて叱言を喰ふ、若しそれでも肯かなければ『ド……撲取は澤山あるんだ、手前みたいな奴にゐて貰はなくつたつていゝから出て行け』と忽ち追ひ出される、それだから所謂トリ的と稱する小相撲は若者頭の前ではチリ〳〵してゐる、土俵に上れば否が應でも眞劍にならざるを得ないさうである、力士に對する取締りは獨り小相撲ばかりではない。

◇……關取格といふ十兩以上の力士に對しても同樣に成績を調べてゐる、そして巡業中に勝星の多く殘したものには滿鮮巡業を終つて內地へ還つた時と、東京へ歸つた時との二回に賞與を出すことになつてゐる、八百長といへば、ツイこの間京城で打上後、横濱の花相撲で浦の濱と大鳴門が一番妙な相撲を取つて還るさい、檜甘に呼び出されて散々油を取られたさうである事程左樣に今年の巡業の相撲は嚴正であつたさうだ。

◇……今度の一行が釜山の二日目の十七日、僕、この日大關千葉ケ崎と大湖と吊り出して勝つた好漢大湖が喜欣した、釜山上陸匆々大關を轉がすのは縁起がいゝといへば『イクラ附か上でも土俵の上では仕方がありませんよ』と昂然と肩を上げる、同じ座に居た同志として翌日取組まねばならぬ三杉磯がゐた、座にある記者が『明日は關取どちらに勝越したらいゝか分らないわ』と困つた顏をしたが、兩力士共平氣なもので「一番で、お互ひに負けたかないが勝負は時の運で、仕方がない、唯力一杯相撲へばそれでいゝんだ』と言つた、流石がこの式で八百長相撲があらうとは思はれない。

喜多四段歡迎碁會

＝廿三日の日曜

本社後援にて開催

既報女流碁客喜多文子女史は十九日午前十時二十分釜山驛發同日午後九時南大門驛著京城ホテル投宿の筈であるが京城に於ける同好者は

▼珍客の入京　を機とし歡迎の意味を以て一夕の非會を催す可く寄々協議中の處今回相談纏まり愈々來る二十三日午後一時より本社後援の下に旭町白水に於て

▲歡迎圍碁會　を催す事となつた參會者は岡本柱次郎大久保雅彥馬詰次男深澤新一郎岡部元家古城菅棠藤由伴之助鮎貝房之進阿川重郎米花芳太郎木倉二古城梅溪小林藤右衛門佐藤伊藏黑澤川九郎横山富之助片山恒夫の諸氏及び京城斯界一級者であるが會費は金五圓參會希望者は本社營業部上田白川まで申込まれたし

▲喜多女史京城へ　女流碁客四段喜多文子女史十九日朝十時半釜山發列車にて京城へ向ふ（釜山電話）

▲入場料　は三十錢にて土間六十錢棧敷割込み一圓正面四人詰六圓三方四人詰五圓學生及び下士以下の軍人は入場料半額五十人以上の團體申込みは一割引百人以上は二割引なり

▲中茶屋改革　例年の事ながら中茶屋の弊害甚だしく之がめ觀覽者の迷惑を蒙る者頗る多く批難の聲高きため數年前より之を改めんとて種々手段を講ずる處ありたるが改革とは名のみにして其實伴はず中茶屋横暴の聲は益々激しきより今年は勸進元にて之を改め一般觀覽者は同所に申込まれたしと

大相撲開場近し

廿五日京城乘込

大阪興業中の東京相撲の京城乘込みは二十五日午後三時なるが京城にては伊藤組及び浪花館主勸進元となり諸般の準備中なるが小屋掛は東拓前の明治町廣場にて既に兩三日前より著手し二十三日頃までには竣成すべく約四千人の觀客を收容し得る設備にて場の內外には日本麥酒會社にて華々しき景氣を添へ繰門は東亞煙草會社より寄贈する由

家具の三輾賣

德島縣麻植郡山瀨村生れ京城櫻井町二丁目居住前科二犯の伊勢芳登（二九）は安東縣に引越す爲めなりと稱し所有の机其の他の家具十餘點を黃金町三丁目の古物商中野某に七圓五十錢に賣り渡し代金は卽時受け取り荷物は出發の朝引渡すと稱して件の家具を又黃金町四丁目の古物商田邊某と往十里の吳興龍との兩人に賣渡したること發覺し本町署に引致さる

横領して逃亡

中學卒業の店員

福岡縣鞍手郡西川村生れの川波辰記（二〇）は京城旭町一丁目淺川甚太郎方に雇はれ會計方を擔當し居れる中自分と同期にて中學を卒業したる知人某が內地より渡鮮し來りたるより同人に邂逅せんと五月末主家の得意先より物品代金百餘圓を集金して之れを横領し尙主家の自轉車にて乘り逃げして行方不明となれり訴へ出でに依り本町署にて手配中同人は此の程咸南永興に潜伏し居れるを發見直ちに逮捕本町署に引致目下取調べ中

東京大相撲

大邱へ乘込む

豫報の如く東京大相撲團は滿鮮巡業の……列車の著驛するや煙火數發は天空に打ち揚げられ驛頭には券番藝者其他出迎へ涼みがてらの觀衆人垣を築ける中を一行は元氣旺盛に……果十九日、二十日の兩日決勝五人拔（小田の山、甲州其他）及初切等を番外好みとして相撲はする筈な……商業專修學校にては東京相撲の來釜せるを期として土俵開きを爲したるが午後一時半ケ濱……

一等（十六名）菊地理一郎、秋山滿……[illegible]

十八日午後……[illegible]

お伽巡禮（五）

涙光生

□裡里□

◇午前九時半久しぶりに心よく眠つた旅館を出で、今日の會場たる裡里座に向ふ、裡里小學校を初めとして五山里、咸悅、大場村、黃登等の各兒童遠きは四里もある處より來り會する生徒等の顏色の嬉しさうなのにまづ心がをどる萬國旗の下をくゞり、黃登久保、咸悅酒勾、裡里井上、大場村曾我、五山里藤元の各校長に迎へられて場內に入れば既に堀に溢るゝ盛況

◇坂井理事、片桐東拓出張所長、其他來賓の郡守、面長、郵便所長、憲兵分遣所長其他有志の方々の顏も見えて居る、定刻小通信員の開會の辭にて壇に登れば小さき拍手が湧き上る

◇熱心に聞きそしてよく笑ふ可愛らしい人達に酬ふるにしては餘りに私の疲れた聲が貧弱で濟まないやうな氣がした

◇二席を濟ませて、藤村理事の挨拶あり第三席の召集合を終ると十

大邱の相撲

二日目取組

◇初日滿員盛況　一行十九日初日開場す早朝より觸太鼓を打ち十時頃既に滿員の盛況を呈せり當日本社支局等のお好みあり盛んなる人氣を呼べり

◇二日目取組左の如し（大邱特電）

三杉磯―藤ノ川　大戶平

大錦―島　翠ケ浦

白岩―玉ノ川　小山山

朝ノ大―代　淀川　小牛川山

伊達―鍋　能ノ海　鶴ノ潟

運動界

法政野球團

朝刊所載の如く東京法政野球團滿鮮遠征のため二十日著連の豫定なるが一行のメンバー左の如し

植田良忠、角田洋平（投）山家愿道、本吉清龍（捕）武宗（一）井上龍三郎（二）宮永（三）林田國康（遊）岩崎高（左）山本岩田孝雄（中）朝井敬六（右）松男、淺見論（補）

一高野球團來る

東都野球界に覇を唱へたる第一高等學校野球團は八月十日頃大連に向ひ約一箇月間の豫定にて滿鮮各地を經て歸校すべしと（大連）

讀者文藝（一等には五十錢の圖書券を呈す）

▲物は付『耳ざはりなものは』

◎傍の內證話（一等）　釜山朝日水產組合　北風愛月

▲隣座敷のヒソ〳〵話　水原　松の鳥人

▲同衾者の長唄　南山坊　東萊　松本道

▲眠りはなの蚊の鳴き聲　京城　牛島

▲岡惚の耳言　仁川　久滋英

▲映畫中にひそ〳〵話　京城　美惠坊

▲二羽つゝある蚊の聲　安東縣　共日居

▲隣り寢床の大いびき　龍山　あき羅

▲眠りかゝつた時の夜廻　釜山　茨木簪春

▲目覺の停て時計　仁川　松洞

文藝課題及募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號又は住所氏名明記の事▲一等は五十錢圖書券を呈す▲[illegible]

天氣　晴一時曇

商況

東京期米特電

十九日前場　一信　二信　二十六圓四十六錢

兵庫期米

十九日前場　寄付　二信　二十六圓四十五錢（二十六圓四十錢）

大阪株式特電

銘柄	十八日後場引	前場寄付	引
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

限月	十九日前場
六月限	三〇、八〇
七月限	三〇、七〇
八月限	三〇、八〇
九月限	三〇、七一
十月限	三〇、五九
十一月限	三〇、六〇

下關期米特電

十九日前場　寄付　二七、五五　二六、八八　二六、二七　四〇

雜報

三品小高し

大阪三品は當限三百二十八圓先限二十六圓……各期一二圓高……

正米引締まる

正米は益々高潮にて朝鮮出來値は日本種玄二十三圓六十七錢見當にて前日來一、二十錢の高氣配なり……却て賣物減退の傾き……眼先更に一段の引締りを見る……

高値思惑の危險

金巾類益强調

在荷益々拂底

南大門の廻穀

朝鮮米一等白米（當用）廿九圓廿錢……

仁川正米

釜山穀物（十八日）

現物は品拂底の爲め一段の盛勢にて

原料材に刺戟せられたる斯界の人氣は漸次買に向きたると同事に相場も頃日來次第に步調を辿るに至れり殊に現物は品拂底の爲め一段の盛勢にて先物に常に人氣先走りし其の振合ひあり細布の如きは節飾後又々値上げありて當市中も此間に約五十錢高の唱へとなり粗布三エーも二百九十三四圓處を手堅く維持せるが尙內地値より打歩して安かる丈け前途甚だ好望なるが如し

揮發油高見越

過日揮發油の値上げを爲したる後內地に於ては揮發油五十錢方の値上げを行ひたれば他の內外元より飾內は內地と事情異なる丈け如何に成行くや測り難きも何れは多少の影響を見るならん

白米の値上げ

白米は元來割安の處へ最近原料高となり引締まれる爲め益々不引合ひき出したれば步び値上げの止むなきに至り今朝市中一般に二三十錢方引上卸値二十七圓三十錢に上り從つて小賣値もその鞘だけ又五厘方の値上一等米二十八錢と新高値に上れり

乾物底弱し

乾物類は昨年來連續好騰し殊に一時出兵の噂ありし當時は之を見込みたる思惑熾烈を極め干瓢及び其他の特種物は意外の奔騰を示せしが出兵說沙汰止みとなりて以來思惑外れの反動を來し市況漸次に沈靜となり內地筋は今日尙內密に思惑手持品の整理を續け居れる模樣なりし其上魚菜類の一時より低下せしなど孰れもの打撃にて商況頗る不振ず近頃市中相場持合ひの體に推移せるも底意は弱き方なり

下關相場

朝鮮米も氣弱し　北陸皆米三百五十叺の到著に過ぎざるのみならず內地正米の益々强硬なると產地も依然安からぬ情報にある丹合米との釣合ひ……

仁川期米

十九日前場（新高値）

▲第一節　各地前寄未著にて當川來不申中二十三圓二十八錢先二十三圓〇一錢と一錢安に寄付きたるも買物多く〇六錢と上伸せしが戾りは又賣物多く折柄大阪期天前寄二十六圓十七錢と兵庫四十錢の入電に安〇一錢と押し四錢引
▲第二節　當川來不申二十錢先〇四錢より五錢と跳れ四錢引
▲第三節　當川來不申三十五錢と新高値先〇五錢より買物多く八錢と上伸引
▲第四節　當川來不申先〇七錢より大阪二三節三十錢東京兵庫不明にて買物更に多く十二錢と上伸して引
▲第五節　當川來不申二十五錢より四十錢と更に新高直に沸騰し二十錢の暴落して引先十五錢より更に八錢と押し……

新高直に沸騰、七錢と大混戰裡に强硬の成行を示す

▲十九日前場　當限出來不申
▲中限（二十三圓二十八錢）三十錢（二十五錢）
▲平均値段二十九錢

市場雜觀

▲後場は大阪前北後寄共未著にて當地二十三圓〇五錢と同事に寄付きたるも買物多く三四圓十錢となり大阪前北三十二錢の入電に買物現はれ〇四錢と戾したるが漸く買物多く二圓九十九錢と押したるが漸く買物多く三圓〇二錢と返して……

肩代の賣もあり結局二萬石　二十二圓九十錢に

策戰上小西の名義を借り

新高値に沸騰　遂に十八錢

中限更に四十錢と沸騰

軟派の賣に二十錢と暴落

仁川米豆取引所

十九日の八月限

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店（電話二二三番）

北濱たより

遂に嫌氣を生じ

煎れ退かざるべからざる運命に

接し高入電

鞘に縮少

中先僅々三錢

倉重仲買店　仁川海岸町

河北米豆取引所仲買人　中仲買店

……時三十五分著列車にて華々しく大……より先き觸れ太鼓は市中を練り廻りて人氣をそゝり市中爲めに色めき立てり本社支局は豫て交涉の結……卵に乘り込みたり一行を乘せたる……中井吳服店其他より關賞品の寄贈あり目出度く式を濟せり

●商專の土俵開き　釜山

●連絡船上陸客　十八日午前入港高麗丸上陸一二等客

大連より

○關東州野球大會は去十六日を以て第三回決勝戰及び優勝戰を以て今年の爭覇戰を終りたり其の覇權は誰人の手に歸したりやは別として吾人は一箇月餘に亘り大連旅順兩市民を擧げて此の爭覇戰の結果に就き多大の熱心を傾倒し其の一勝一敗は如何なる階級の市民まで知悉し居る程度に野球に對する趣味の普及せられたるを痛快に感ずるものなり

○殊に在大連十數組の野球團が今春以來熱心なる日課練習と各選手が爭覇戰に於ける健鬪振りとは眞に懦夫をも起たしむるの壯快さを示したり

○關東野球大會は滿洲日日新聞社の主催に係り國澤滿鐵理事長の始球式に開始せられ以來約一箇月に亘り各方面を代表する選手の奮鬪と山河を動搖めかす各團の應援の成蹟とは全く沈滯せる空氣を一掃し努力と奮鬪と豪快とを進取とを發揮し其處に日常の嫉視なく陷穽なく貪慾なく誠に清淨潔白大雨洗ひ去りたる六月の空の如く青葉の如し近來帝都を始め日本各都市に於ける野球趣味甚だ盛んなるも未だ我が大連市の如く全市を擧げて此の男性的競技に對し斯くの如く非大なる注意を傾倒する都市あるを聞かず

○吾人は常に植民地に於ける青年が金儲の爲めに手段を選ばず低劣なる快樂に耽り全く有爲高尚なる植民精神を失ひ又失はんとする者甚だ多きを慨嘆し其の原因を高潔なる競爭精神の消耗より來るものとせり而して客月來關東野球大會に於て各選手及び應援團が黑汗を流して攻擊防守に努力するの元氣を見て快哉を連呼し止まざりき

○關東野球大會に於ける痛快事は單に選手の學生青年及び應援の學生青年團の元氣の横溢せるのみに非ず更にグラッンドを圍繞する觀衆のみに非ず實に野球シーズンと共に大連全市の人氣活氣を呈し若なしき元氣の磅礴するを見て吾人は米國人の野球に對する趣味の盛んなると彼等の元氣の若々しく進取的なるを思ひ更に大植民の元氣の發露に想到し一段快心の悦を禁ずる事能はず

○關東野球大會選手は學生又は青年のみに非ず可成に年を取りたる選手亦尠からず內地又は他の地方にては既に初老の嘆を洩す如き年齡の選手亦之れに加はり少壯者と伍して鬪爭し看衆亦少壯者の群のみに非ず老年者婦女子甚だ多く且つ勝敗の一進一退に焦慮し聲援鼓舞するを見る斯くの如く野球趣味の普及と共に一般に若々しき元氣を振作せしむるに努めたる主催者の勞を多とせざるを得ず

蠶況

◆忠北原蠶製造◆

忠清北道清州郡四州面司倉里に位置せる製造所は桑園一町七反八畝歩桑苗圃一反五畝歩を栽培し職員場長以下九名にして目下春蠶期に付講習生二十名卒業生五名灘岡技手監督の下に不眠不休春蠶飼育に忙殺され本年は原紙二十六匁を掃立て重に支那種內地種歐羅巴種各二種を選び基本種として各郡蠶種製造家及び一般養蠶家に配布する見込にして上簇見込は七石八斗位なり今や上簇中のもの已に終りたるもの將に取掛からんとするものにして本月二十日全部終了の見込なり本年は氣候の適順と桑葉潤澤のため成績頗る良好なり特に本年度に於て實驗せる簡易蠶室は約六坪生徒の作業によりて成りたるポプラ及び蒸殼によりて作りたる急造家屋は四面荒壁にて仕上げ頗る粗雜極まる豚小屋に二匁の掃立せしが其結果設備完全の蠶室と差異なく其成績大に見るべきものありこれに依つて簡易飼育は溫突に於ても好結果を來たすべき實驗的指導を示せり其他又昔の一架飼育之又極めて佳良にして掃立より成繭に至るまで其病原を明らかにし健全なる原蠶種を製造せり而一面斯業者奬勵に努力せる結果近來該知識は一般に普通され日々飼育方法に就て疑問を訊すの傾向あり蠶業發達上喜ばしき現象なり（清州）

◆繭相場（慶北）（尙州）十四日（又昔）最高九圓六十八錢、最低五圓八十錢（……種）最高九圓二十五錢、最低五圓十九錢、駒七圓八十一錢（金泉）十日最高九圓、最低五圓八十錢、十一日最高九圓四十錢、最低五圓九十錢にて又十二日最高九圓五錢、最低五圓五十六錢合計千〇二十六貫六百四十匁七千七百十八圓九十四錢の取引ありたり（漆谷）十二日七十八貫六十五匁の競賣あり共結果特等貫當り九圓二十錢、二等八圓廿三錢、三等七圓五十五錢四等六圓五十錢にて執れも片倉組に落札す、又た十四日慶北安東繭の第三回共同販賣ありたるが共相場は又昔最高十圓三十錢、駒九圓二十錢又最高十圓二十錢、最高十四錢八圓六十四錢貫石丸、駒八圓九十四錢八匁へたり（大邱）

◉豆粕受渡問題解決

六月十五日限先物豆粕受渡は買方主力たる小寺油房及び增田商店にて合計二十三萬一千枚の受渡を履行せず一般今期の受渡に關し注意を拂ひ居る矢先とて又々昨年の大豆問題と同一の問題を惹起するに非ずやと懸念せられたるが十五日夜に入り賣方小寺、增田買方鈴木臼井の間に於て取引所當局者斡旋の結果全喰合ひ二十三萬一千枚の內十五萬枚を當日の大引値段より二錢高の一圓四十五錢を以て解合ふ事となり先々月來兎角不穩の狀態に在りたる豆粕受渡は無事解決を告げたるが要するに買方共昨年の大豆問題にて面白からざる根を持ち小寺油房の如き現品不足を知りにて賣進み結局け違約金納付を以て始末するの決心にて此の間に於て買方を壓倒せんと企てたるらしく猶双方の感情は融和せざるものと見て可なるべし（大連）

◉大連大豆の相場

大豆は相變らず買氣引立たず相場漸次軟化し普通物三圓四十錢より六十錢豆粕十五日限り受渡解決と同時に弱氣見込み一圓二十三錢豆油百斤十四圓十錢（大連）

◉慶北共進會

◆觀覽者誘致に就ては道內外に共進會開催の周知を圖る爲め所轄鐵道府郡局は之が徹底を期し同時に新聞紙、雜誌等の機關に依り觀覽者の勸誘に努め更に此機會に於て各種の大會等の開催を促さむとす而して之等大會等の主催は其關係機關に於て之が主催を煩さむとす、觀覽者の乘車すべき汽車賃並に出品物運賃の割引に就ては目下其筋と交涉中に屬す、邱浦出帆便鐵道は往復三割引、朝鮮郵船會社の經營に係る本道東海岸及び慶南釜山方面の汽船の乘船賃は觀覽者個人二割引、二十名以上の團體三割引、出品物運賃は二割引と確定、迎日郡浦項に於て交涉濟に屬す、

◆評議員會　慶北道廳に於て慶尙北道第二回物品共進會評議員會を開催し主任者より既定事業の經過報告ありたる後引續き將來に於ける諸施設に付き協議する處ありたるが今日迄に決定されたる共進會事務並に事業計畫の概要を揭ぐれば左の如し

◆會場　會場を左の三會場に分つ

◇第一會場　蠶業講習所を中心として設備したるものにして之に陳列すべきもの左の如くなり（第一號館農産、工産、林産、牛と鷄と豚を除ける以外の畜産參考品とし第二號館は水産品とし第三號館を蠶業品、第四號館を教育、金融機關出品として第五號館に慶北生産品を陳列し別に畜牛、豚、鷄を配する……、各種作業所を併設す）

◇第二會場　東城町所在齋第十中隊營舍を借入るゝ豫定にして目下交渉中なるが之に陳列すべき品目は鑛産、園藝品及び現業館とす外に協贊會より生花盆栽品及び教育品展覽會として道內各學校生徒等の製作に係る教育品及び協贊會設營即賣館を以てす

◇第三會場　慶尙北道觀慶館を以て之に充て階上に道內各府郡島勢狀況を階下は古美術品展覽會を以てせむとす（大邱）

◎游泳術◎

（三）　神傳流師範　林茂敏

強て浮ばんとする故に

（多くの場合水に溺るゝなり）

前回述べし如く人は自然にして其の水面上に浮ぶの特質を有すれ共水泳を知らざる者は往々にして溺死する事あり之れ皆強いて浮ばんと欲する念慮より手或ひは體の上部を水面に出ださんとするが爲め體軀直立し上壓力を受くる事少なき體形となるに因る故に水泳は意を此の自然の體形を無視して我が儘にする事あるべからず

水に浮ぶ者の難易

（要するに持久力によりて異る）

如上人體は必ず浮ぶべき性質のものなりと雖も人に依りては亦其の浮動の難易あるは免かれず即ち人の骨格構造同じからざるに因り其の比重を異にし若し比重大なれば浮び難く之に反して比重小なる者は克く浮び得る如き當然の事なりとす然れ共體質を異にして遊泳の難易ありと雖も決して悲喜すべきに非ず各々一長一短ありて輕快に泳ぐと然らざる者とは其の持久力に於て亦相異る處なり

游泳の習得の順序

（游泳の順序は上達すべき方法）

凡そ初心者は必ず一定の型に依りて順次に其の習得を爲さゞるべからず體形の如何を問はず泳ぎ得れば可なりと爲す如きは最も其の發達を阻害するものなり之れ獨り游泳に限らざれ共殊に斯道に於て然りとす即ち先づ第一豫習より初むるを必要とす第一豫習に於ては最初兩手を以て水面上に横へたる竿を握り兩腕を延ばして體を

◆水面上に浮ばせ左右の脚を代る〴〵屈して足の甲及び脛を以て強く水面を打つ之を敲足と云ふ而して此の敲足にして頗る樂に繰り返へし得るに進みたる時第二の豫習に入り先づ充分息を吸ひ込みて顏を水中に浸し第一豫習の敲足を應用し同時に兩手を以て代る代る水を掻く即ち兩手の使用法を習得するものにして身體充分に水面に浮び得るに至り且つ前進するを覺ねて更らに第三の豫習を爲す第三に於ては第二豫習の體形のまゝにし唯顏面を水中より揚ぐるに先づ顎より以下目鼻と順次に水面へ表はす方法を試むべし斯くする時は遂ひに口を開きて自由に呼吸し得るに至るべし之を俗に犬泳ぎと云ふ

游泳の體形

を分ちて横體、平體、立體の三種とす横體は右眼右肩右手右足を下にし左眼左肩左手左足を上部にして水面に横臥したる體形或ひは之と正反對に左を下にしたるものを云ひ平體は水面に俯伏し又は水面を背にして仰臥したる體形其の低水面に沿ふて四十五度以內の角度に傾斜せる迄の體形を云ふ然して立體は體を垂直即ち水面と直角に立ちたる體形及び垂直と四十五度以內に傾斜したる迄の形體を云ふ

◉名産清州紬

清州機業傳習所に於ては本年度より傳習生をして蠶絲製系紡績の手順を清水教師指導の下に着々講習をなしつゝあるが其成績好良にして紬及び綢布類を織れる名産清州紬と清州綿紬とは近く市場に販賣するに至らん（清州）

◉新企業＝西鮮＝

◆窯業の會社と製紙業◆

平壤の林長太郎氏は滿鮮に於ける陶磁器及び陶器類の多く內地より輸入し居れるは需要者側の不利益甚だしきを以て平壤に於て窯業は比較的有利なる事業なりと認め窯業會社創設の計畫を爲しつゝあり平壤の印刷活版業與田延之助氏は紙屑襤褸木皮等に依つて馬糞紙ボール紙並にザラ紙の製造計畫し居れるが同氏は本事業は自分の營業柄最初は五萬圓位の資本にて獨力經營を爲すべしと（平壤）

虎＝鎭南浦附近

近來鎭南浦附近より龍岡、三和等にかけて猛虎の出沒多く昨今又た廣梁灣街道に出でしとの報ありしが本月十五日午前八時龍岡郡龍月面大外里の沈某牧なる者廣梁灣警察官吏派出所に出頭して十四日夕方自宅を距る五六町の原野にて飼牛を虎に咬殺せられたりと訴へ出で直ちに詰合の警官出張して現場に至りたるところ牛は腹部を咬み割かれて慘死し附近に大なる虎の脚跡あるを認めたりと（鎭南浦）

農信

◆平南の麥作豫想◆

本年は氣候の關係上麥作比較的不良にして例年平安南道に於て二十五萬石の收穫ありたるが當年は一割減收二十二、三萬の收穫豫想なりと平安南道勸業主任井川氏は語り居れり（平壤）

◆插秧（清州）　忠北清州附近の水田は雨量潤澤のため十三日頃より插苗に着手し今や一路青瓶の畫出と變せり（清州）

京日愛讀者優待

東京大相撲

木戸割引券

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

（大田興業中）

後援　京城日報社

◇第七回開明終篇◇
◇喜劇天快九◇
ミラの秘密

京日讀者優待割引券

割引入場料	普通入場料
一等卅錢	一等四十錢
二等廿錢	二等三十錢
三等十錢	三等十五錢

活動寫眞　黃金館

日時六月十四日より（午後六時開場）（一枚二人共通）

京城日報社

小賣店の一大福音

歐洲戰亂は世界經濟界に一大變動を惹起し爲めに地方小賣商店の商品仕入上に大苦痛を感ずるもの……本社は之れが救濟の爲め……格安價格にて供給すべく……各種商品を取揃へ……御申込あれ

東京神田……日本橋……商會

りん病七日藥

淋病　慢性淋病　急性淋病　膀胱加答兒　女子淋病　痲除はいやでも治る奇藥也

七日分一圓　服用せよ説明書送呈す

大阪堺筋八幡筋北　山口藥院

人から嫌われるわきがを

責任ある確實療法で早くなほしなさい

全治して喜び謝狀山の如し

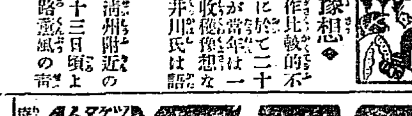
◎音尾博士創見
化學的療法無代進呈

藥學界に名譽ある陸軍一等藥劑官音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助け……

も進歩したる「チゼン液」是迄無責任な一寸素人ダマシの藥に……ヨクキク責任ある藥を新見致しました

東京府淀橋町柏木百貳拾番地

あざ　ほくろ　そばかす　いぼ　しみ



……一日も早く東京府淀橋町柏木百廿番「東京德愛藥院」へ……

◎魯桑種子發賣◎

土佐產純粹魯桑一升ニ付四圓八十錢
普通桑一升ニ付三圓三拾錢
御注文直ニ發送可仕候

京釜線鳥致院驛前　朝鮮農園
振替貯金口座京城三七……

酸素療器

本器は前島震太郎氏の發明に係り佛國及西班牙政府より既に特許證を交付せられ尙日、英、米へは目下出願中なり

▽治癒實驗例說明書贈呈△

オキシヘーラー

▼オキシヘーラーは其効力の顯著なる事使用僅か五分間にして三乃至五耗の血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十耗の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て之を驗せば其效的の狀を明に計量せらるべし
▼奇妙なる磁氣應用の本器は斷して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに奇前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏強實となり全身の溫暖呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

（使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗するものにあらざれば器械勝手入以外永遠に何等の費用を要せず）

正價金參拾五圓

◎他に類似の品を販賣する者あり注意せられたし

東京牛込區築土前町（北町電車停留所）
オキシヘーラー獎勵會
電話番町四六八九・振替東京二七七一二

內科　呼吸器病　腸胃病
小兒科　婦人病

京城若草町大通り　今村醫院　電話一八三三番

內科　小兒科　花柳病
外科　皮膚病

京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）

內田病院

電話三一六番

來る六月二十日より三十日迄

反物が四拾五錢で買へる

但し五圓以上御買求めの御方お一人樣毎に限り申候

京城本町　ますや吳服店　電話四八二番

自動昇降附揚杵付改良搗精米機各種

無砂　精米麥機

天下逸品トーア式人力精米麥機を發賣し多大の好評を博し今回更に動力掛精米麥機を完成し其紀念として

貸附割拂　月賦の御相談に應じ

◎各地に特約店を設置す
◎希望者は至急申込あれ
◎詳細圖入說明書營業案內送呈

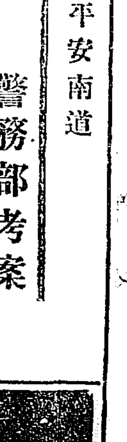
大阪西區市岡町
製造元　東亞物產社

平安南道

警務部考案

平壤名產

萩の蠅たゝき



堅牢　優美　廉價

定價一本四錢一千本以上は一本一錢の割を以て御注文に應ずべく候但し運送費用は別に申受くべく候也

平壤壽町　京城日報平壤支局

星印ソース

今やいづれの御家庭にても ソースは星印を御愛用になる

本品は其品質と賣行とに於てソース界の明星なり

全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

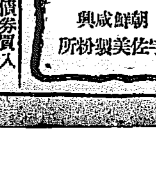
發賣元　大阪市　祭原伊太郎

倉庫完全　債券買入

㊅杉本質店

京城櫻井町二丁目　館花園町　電話三一〇三番

片栗



朝鮮咸興　宇佐美製粉所

長女龍子儀病氣ノ處療養不相叶十九日午前三時三十分死去致候ニ付此段謹告仕候也

大正七年六月十九日

京城府本町四ノ八七

父　熊谷英夫

親戚　加藤長三郎

御會葬御禮

混雜中尊名伺漏れも可有之ご存じ乍畧儀以紙上御禮申上候敬具

大正七年六月十九日

宮川五郎三郎

親族　奈良原健介

總代　本田常吉

友人　大橋恒藏

代　淺井佐一郎

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百十一席

おとよは之れを聞いて大に喜こびまして厚く小太郎を待遇して居る處へ小才治も立戻つて參りまして互に從弟同志でありますから懐かしく打解けて物語りをいたしました、時に小太郎 小『何はしかれ、早く其老狐を退治いたさう、病間へ案内下さるやうに 才『心得ました 小『弓矢をお借し下さい』といふからおとよは立つて夫の所持した重籐の弓に鷹の羽矧いだる矢を一手添へて小太郎に渡しました小才治が 才『小太郎殿、仲々年經へたる老狐でございますから油斷なさると大變で……仲々通力自在な奴でござる 小『アハヽヽ御心配御無用、天下第一の古狐三好長慶入道を討取つたる拙者決して不覺は取り申さぬ、御安心なさるやうに』と案内に隨がつて奥座敷の方へ來つて見ると一間の中で讀書の聲が聞ゆる 小『讀書をして居らるゝは……何者でござる 才『アレが妹でございますが暇さへあれば讀書をして居ります、仲々學者の狐で、坊主でも修驗者でも學論では到底叶ひません、皆な尻尾を卷いて逃げて了ひます 小『ハア年經たる老狐なれば其位の學問もあらう、狐五百歳にして黒色となり千歳にして白色と變ず、白狐は瑞獸で芽出度物であるから害はせぬ、人民に害をなすは斑狐といふ奴だ其色赤黒く執念深い奴、何でも宜しい拙者が一矢に射殺して了ふ』と事もなげに言捌つて襖の前に立つて明けるを待つ、おとよ小才治が襖をサラリと引明けると中には娘きよ、十八才になる美女でありますが是は蓬の如く振亂し、永らく狐が憑いて居るから肉痩せ骨高く顯れて一目見るさへ痛々しく、それでも床の上に起上つて書物を讀んで居ります、襖が明いたのを見て見臺から目を放し、ジロリと振返つた眼光人を射るばかり、小太郎の面をキッと見た、小太郎樺の如く立止つて之れも娘をハタと白眼んだ 『其處へ來たのは何者だ、妾の身近く弓矢などを携さへて立入るは無禮であらうまだ〳〵汝のやうな弱輩の者に恐れて立退くやうな妾でないぞ、長居をせば却つて不爲め早く立歸れ』と言も恰で變つて男子のやうに凛々と耳を貫く〳〵と『アノ勢ひでございますから仲々落ちますまい 小『宜しう』とツカ〳〵と座敷へ入いつて 小『ヤイ老狐、汝畜類の分際として萬物の靈長たる人間を惱ますとは不埒な奴、汝のために夫なる老狐が小太夫殿の矢先きに掛つて果てたるを恨み、當家に祟りをなして先には小太夫殿の一命を奪ひ、今また娘の身體を惱ます重ね〳〵の執念憎くしといふも餘りあり、佛說に因果應報の理りを示したるを知らざるか、汝の牡狐が矢先きに命を落したるも宿業の因縁なして恨む所なし、畜身を得て永く輪廻に迷ふよりは武士の矢先きに不淨の身を捨て、靈魂となつて天に躋るの喜びに如くはなし、汝反つて之れを恨み小太夫殿を殺せしのみかまた〳〵娘の命までも奪ひ取らんとして己れ反つて苦しみを増し、現世にては畜生道の苦しみを續け、死しては地獄の熱火に灼かるゝを恐れざるか、如是畜生發菩提心要文賴みあり速やかに執念を去つて此所を立退けば宜し、さもなくば小太郎勝義が神通の鏑矢を以つて五躰微塵に射碎いて呉れん覺悟に及べ』と大音聲に呼はつて弓に矢打番へキリ〳〵と引絞つてピタリと鏃を差向けた娘カラ〳〵と笑つて『吐いたり小太郎臆臭坊主に等しき觀數三昧、汝に聞かすとも能く知つたり、我爲めには夫の仇、島村一族を殺し盡さずば拗通擾け給はゞし北斗の神へ恐れあり、よしや來世の地獄の苦しみをなすとも何條祟りを止むべきや無用の腕立てをなして汝まで二ツなき命を失ふな』といふ聲身の毛も慄つばかりであります。

人參ミルクキャラメル

六月廿一日九星 舊五月十三日己亥 本命一白 北 取 大安

▲一白● 進むより守に利有の日新事見合西方 [illegible] ▲二黒● 一寸中傷を受んさす新事 [illegible] ▲三碧● [illegible] ▲四綠● [illegible] ▲五黄● [illegible] ▲六白● 功名が爲す [illegible] ▲七赤● 大成の日ふと立身出世の道に用ゐ [illegible] ▲八白● 負借の事有 [illegible] ▲九紫● 焦々する事有日新事手控爲事は吉小見病水難注意

演藝案内

黄金館

電話二六三七 二六六

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 [illegible]

▲喜劇『歌姫』 ▲泰西滑稽『拳闘』 全三巻 [illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番

◎六月九日より開演 △京阪落語々樂會一行 ▲落語(小遊)▲落語 [illegible]

有樂館

六月二十三日より切一行

壽館

京城本町 電話一〇五〇

女流浪花節 正横綱 笑樂家 賀一喜一 嬢改

[illegible]

りん病

日本一

專賣特許 博士證明 自宅器械療法

生殖器障害も同器で治る

他の療法は有効の達せざる尿道膜内に潜む根治至難の淋菌を殲滅し卅年の慢性を治し尚生殖器不完全、機能障害、包皮を易く治す器械療法あり、ハガキで申込説明書無代進呈

東京京橋木材町三 新療法研究所
東京市北區北森町 新療法研究所
大阪市北區魚棚下ル 新療法研究所
京都烏丸通 新療法研究所
京城本町二丁目七一 新療法研究所

大連燒酎

於大正元年拓殖博覽會 金牌
於同二年明治紀念博覽會 金牌
於大正三年大正博覽會 銀牌
於同六年化學工業博覽會 銀牌

開業以來以上四個の賞牌を頂きました事は品質の優良なるを證明するものです

大連燒酎製造所 九鬼榮助

質

(大口歡迎)

黄金町長橋町入口 電話二九一六番

田村質店

商品擔保便利取扱

東洋捕鯨株式會社特約販賣店

鯨問屋 香月商店

(京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番)

◎尾羽毛皮各種講荷

御旅行用 靴と鞄

東洋一 新形流行の魁

内田式ストロング靴は堅牢優美、價格一割以上安價を保證す

東京市芝區櫻田伏見町角 ◎定價郵券二錢 目錄呈

内田靴鞄製造問屋

電話一五五一、振替一八七一七

周易

明治町一丁目

岡村介石堂

▲双眼鏡▼

◎十五形 六枚 金十二圓
◎十三形 六枚 金十一圓 外三十錢

送料鮮内十二錢

有償か 荷著至急御下命願上候

京城大平通電話構内一八番

京城日報社代理部

振替京城二一〇番

自動車

本校卒業生は校外生と雖短期容易に運轉手技師販賣員となり得。更に收入の道を開くべし 規則證送

東京市京橋區 自動車學校

東京市 校外生募集

大阪市西區南堀江 [illegible]

赤玉ポートワイン

朝々の一杯は百藥に優る!!

七大醫學博士の賞讃と證明を有する

美味滋養 葡萄酒 赤玉ポートワインは

血を增し肉を肥し元氣を盛にするには滋養豐富な藥効的の葡萄酒に依らねばならぬ事は歐米各國の醫學大家の證言である然も數ある葡萄酒中で諸君は最も滋養豐富品質優良なる者を撰擇せねばならぬ赤玉は此點に於て既に七大醫學博士の證明と賞讃のある名實共に全き模範葡萄酒で多年の實驗と學理を應用し到底他品の模倣し能はざる特別醸造法に據る葡萄酒であり健胃補血興奮強壯の効顯著なる點に於てすでに大醫方の薬局に於て滋養藥餌として採用されつゝある模範葡萄酒にて加ふるに天然の美味を保有し居るが故に婦人小兒の口にも適する一般家庭に常備すべき葡萄酒である

赤玉 兜那錢葡萄酒 赤玉生葡萄酒

代理店 辻本商店

夏の婦人の身だしなみとして

お單衣の袖袂のさては襟うら帶の廻りに必ず人も好き我も好く最も氣品高き

香晶をこそ優に薫らせ給へ

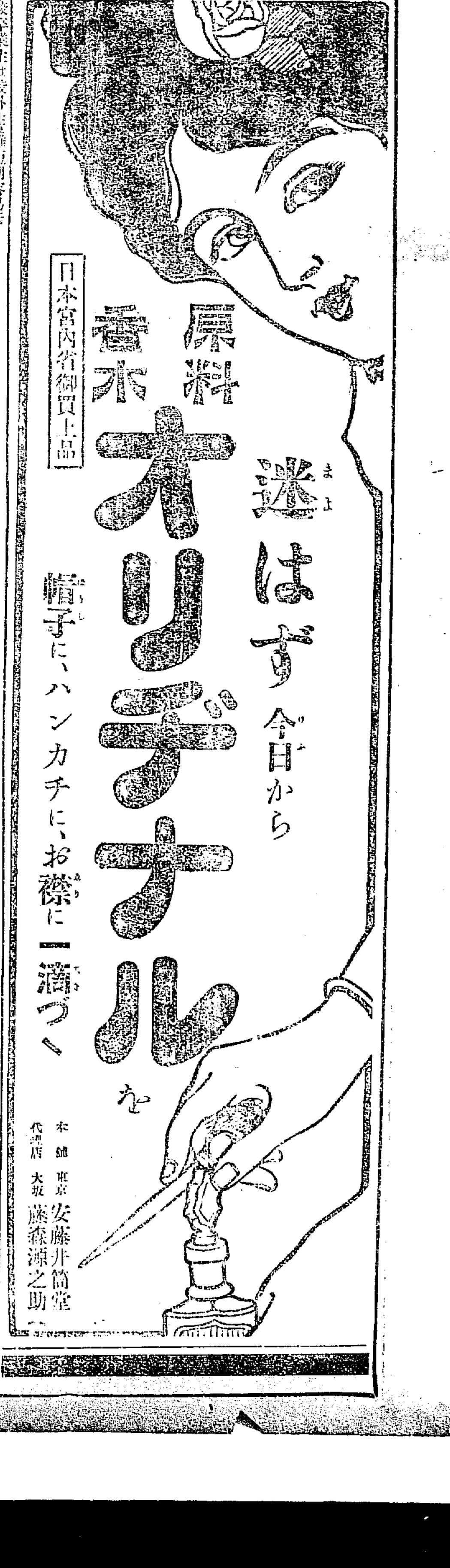
香晶は液体ならぬ結晶だけに御携帶には何より重寶で御座います

發賣元

大阪道修町 東京本町

藤澤商店

各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり



迷はず今日から

日本宮內省御買上品

原料 香水 オリヂナルを

帽子に、ハンカチに、お襟に一滴づゝ

本舖 東京 安藤井筒堂
代理店 大阪 藤森源之助

第五版
京城日報
二十日朝刊(朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 壹ケ月金七拾五錢 前金參ケ月 …… 廣告料金 五號一行金… 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話…… 發行兼編輯人 小川三之介 印刷人 ……

▲市況波瀾に富む 頃の製粉市場は一方に於て在荷著しく豐富なると共に買方筋の買煽落付き場所を失へるの觀あり即ち[illegible]

▲在荷二百萬袋 即ち最近殆んど其の[illegible]出は農商務の制限殺ならざる限り又一般消費も[illegible]の判斷する能はざるか如し[illegible]のみ[illegible]而して一方之が捌け口として[illegible]彼等は何としても相場を維持して[illegible]多くが商人の手中に在る[illegible]す可き情勢なりと雖も然も在品の[illegible]に自然市場は極端なる大暴落を[illegible]

▲原料麥騰貴 加ふるに[illegible]麥相場は尙ほ割高にして昨今升[illegible]七八合を唱へ居れるが之れ新麥未[illegible]出廻らざる爲賣物從つて尠き[illegible]圓に十錢を中値として上下二三十錢方の値幅を往來するにあらずやと觀せられ居れり[illegible]

京城日報

露西亞の救護

頃者露西亞救護の必要を說く者寡からずと雖も、露西亞を救護し得るや否や、將た關係列國は如何なる手段を取り得るやに就て詳語する者は殆どこれ無し。是れ吾人が其の途に不得要領に終るなきかを疑はざるを得ざる所以なり。

露西亞は戰爭より離脫したりと雖も、猶ほ我日本及び英佛米諸國の友邦たり、且其國土は我朝鮮及び滿洲と相連り、事物甚だ相密邇するより云ふときは、我日本は卽ち其の利害關係最も切實なるものたり、故に露西亞を救護するの必要ありとせば、我日本は則ち其第一着手者たらざるを得ず。

然るに今日の露國の情形を觀るに、宛も是れ紀綱を失へる國土にして、國を擧げて無政府狀態に陷り、土崩若くは瓦解は遂に免かるべからず、過日獨逸と單獨講和を締じたれども、其實は降服にして、ウクライン波羅的諸地及び芬蘭は獨立の名の下に皆悉く獨逸の支配の下に立ちたるものゝみにても面積四十三萬五千方哩人口五千五百萬人と稱す、若しペトログラードを中心とする一圓の地をも此に加ふるに至らば、歐羅巴露西亞の大部分は敵國の勢力範圍に屬せりと云ふを妨げず、少くとも、英佛諸國と露國との中間に廣大なる獨逸勢力範圍を出現したる次第にして、最近米國外相は、協商國は露國の內政干涉の方針を改めずと公宣したれども、其の露國の內政に干涉せむと欲するも、此中間に敵遮物あるを如何せむ、米國が露國の內政に關與するを躊躇するの理由も亦必ずしも解し難からずして、此に干涉するを欲するや甚だ切なるべしと雖も、今日の情形の下には、其手段方法なきなり。

且露西亞は今日レニン一派たる過激派政治家の統治の下に在りと云ふも、過激派政府の勢力は漸次歐羅巴露西亞より退縮し、僅かに莫斯科を根據と爲すがごとくなれども、同處にすら既に反過激派の活躍するあり、高加索地方グルヂヤは獨立を宣言し、露領土耳其斯坦亦獨立せりと傳ふ、西伯利は過激派全盛の地なりと稱するも、反過激派勢力亦日に盛なるが如くなれば、其消長は未だ遽かに斷ずべからず、乃ち適切に云はゞ露西亞は今猶ほ無政府なりといふの外なく、英佛諸國が過激派政府を承認するに躊躇せるは固より當然にして、北米合衆國政府は當初切りにレニン一派に同情を寄せたれども、其正體を見るに及びて却て狐疑猶豫の態あり。

或は露國救護とは西伯利出兵の事に外ならず、米國人中には日支米三國の軍隊を出して相共に獨逸勢力の東漸を防止すべしと說くものあり、併しながら露國を救護するの第一策は、西部戰線に於て獨軍を粉碎し去るにあり、獨軍西部戰線に於て塗地の敗を招かば、獨逸帝國は忽ち覆滅すべく、露國侵略若くは西伯利經略等の事は自然消滅に歸すべし、今日米國は西部戰線に於て重大任務を負ふものならずや、今に及びて其力を致すところを誤るべからず。

支那文學の變遷

(十二) 今關天彭氏談

斯樣に文章が盛んになつたから駢體の文も亦盛んになつて來て、有名な人には陳維崧(迦陵)袁枚(隨園)等が出まして、何れも達者に書いて居ります。

夫れから詩の方面になると、錢謙益(牧齋)吳偉業(梅村)朱彝尊(竹垞)この三人が淸初の三大家と申されて居ります。次で王士禎が出ました。この人が卽ち漁洋山人でありまして唐の王維孟浩然等の詩風を學んで、所謂神韻の說を主張して康熙帝の殊遇を忝うし、其門下から有名の詩人を出し、一代の詩宗となつたのであります。門下で名高いのは查愼行(初白)であるが、この外にも多數の詩人がありますが總て省略して置きます。當時は詞も亦盛んであつて梅村や朱竹垞や陳迦陵の詞には可成上手なものがあります。竹垞と迦陵の朱陳村詞などいふものは今日に至るまでも猶持囃されて居ります。

乾隆以後の新風潮

乾隆以降から淸朝の終りまでを大略申しますと、この間の文學を淸朝特有の文學と謂つて宜しいのであります。乾隆の中頃に於て姚鼐(姬傳)が出た。この人は古文に於ける近代の大家であつて、古文の作法を劉海峯に學びましたが、却つて其の作は劉海峯若は方望溪に優つたものがある。この人は桐城といふ所の生れであるので世間の人は其の文派を桐城派と謂つて居ります。又劉海峯から出た文章の一派に陽湖派といふのがあるが、桐城派の盛大なるのに匹敵すべくもないのであります。姚鼐の門下から多數の名士が出て居るが其の最も名高いのは梅曾亮である。この梅曾亮は多くの文士を門下に有つて居ります爲に、一層桐城派が盛んとなつて參ります、暫くすると道光、咸豐の頃になるが、長髮の賊を平定して一世に英名を轟かした曾國藩がこの桐城派から出まして盛を來たしたので、この派は更に一層の旺盛を來たしたのであります。曾國藩の門下からは日本へ公使になつて來た黎庶昌(純齋)或はこれも日本へ敎育視察に來たことのある吳汝綸などが出て居ります。其の黎庶昌の謂つた言葉に依ると、淸朝の文章に於ては、文體の正しいものは方望溪から始まるのであるが姚姬傳に至つて始めて文字が整正になり、曾國藩に至つて大成したのであると謂つて居ります。

新自然主義

六 鈴木大拙

支那の哲人は大人を以て小兒の心を失はぬものと云うた。又ユダヤの聖者は小兒の如くなりて始めて天國に入る事が出來ると云うた。一面には小兒に野性があり獸性があつて、頗る殘忍な事を平氣でやつたり、我利〻〻主義を臆面もなく肯定するのであるが、其過ぎや天下の人皆之を見るで何事にも自ら纏はぬ點が小兒の心の美しき他の一面である。天眞爛漫とも、寸糸掛けずとも、淨裸々赤灑々とも云ふが、是れが卽ち小兒の自然なる處で、此處に小兒の德總ての面目が活躍して居るのである。小兒が其自らを肯定するに當りては猶獅子がその全力を擧げて狐狼を搏つが如くに、天地から稟けて來た力そのものを絕對的に肯定する。この時には何人もこれに抵抗する事が出來ぬ。釋尊はその生れる時に天上天下唯我獨尊と叫破したと傳へられて居るが、これは釋迦のみに限られた事ではない。誰れも滿心の『われ』を肯定しておぎやあとやれば、此聲直に九天の高きより奈落のドン底までも響きわたらずしては止まぬのである。新自然主義のレーゾン、デートルは此處から出で居る。小兒の心、靑年の心それが直ちに新自然主義であると云ふのではない、其心の上に鍛錬を加へ鉗鎚を下して、さうして幾年かの後に出來上つた小兒の心靑年の心が卽ち吾が所謂新に生れたパンの神聖なのである。總ての鬪爭が此處に來て始めて其落著を得る。固より目的は玆にあつたのである。生のまゝで何等の努力と爭鬪とを經過せぬ赤子の心には『自然』は卽ちこれであるが、人間らしき『自然』字が所謂新たな『自然』はない。一遍火の中を通つて來ねば精金無變色と云ふ譯には行かぬ。春の野にひら〳〵と飛で步く蝶を見るがよい。如何にも若々しいさうして美しい。これは蝶蛾の新に孵化したものであるが、其始めて地上に出て蠢動してゐるときの樣子は自然は自然でも餘り見よいものではなかつた。併し一度毛蟲の時代を經過し又繭の中に蟄居の時代を經過して第二の靑年時代に轉化して來ると、以前とは實際大いに見變りしたところの形態をとりて現はれて出る。地上に匍匐して人の足下に踏みつぶされんとしてゐたものも今は空中をひらめきながら飛んで行く。人間よりも天上界の空氣を餘計に吸ひ込まんとさへしてゐるではないか。新自然主義の洗禮をうけた人間も亦之に似た處がある。第二期の若やぎに躍つたものは所謂『自然』の妙趣を味ひ得ることが一層深長なのである。

並行線

十三 瀧閑村

酷く寒い日もあるが、翌朝は忘れたやうに暖かになつた。海岸近くに暖潮の回游を持つてゐる靜岡は春が早い。城濠の枯れたやうな柳條に、粟粒程の靑い芽が吹いたと思ふと、春の色が滿ち〳〵て溢れ出るやうに見る〳〵靑くなつた。氏神の淺間神社の祭禮も近くなつたので、夜は所々に笛や太鼓で木遣音頭の稽古の聲が賑やかに聞ゑた。癖になつた懷ろ手を片つ方だけ出して洋杖を引摺り乍ら、町を散步したい夜も段々多くなつて來た。

宜太郞は追立てられるやうな氣持を抱き乍ら、身體の箍が弛んでしまつたやうに、刺戟しない懶い日を送つた。

お夏の夫の長谷川眞介の家は小川一つで市と境した郊外だつた。夕方からブラ〳〵訪ねた。

『オヤ兄さん、よく入らッしやいました、さアどうぞ。』とお夏が嬉しさうに招じた。小さな黑犬が人可懷く尾を振つて宜太郞に飛付く。

『ペス、ペス、そんなに巫山戲るぢや無いよ、著物が泥だらけになるぢや無いか、これ』と手を擧げて見せると、頻ぶやうに逃げてゆく。まだ子の無い夫婦は斯うして犬を飼つてゐるのだナと宜太郞は其靜な生活を羨ましく思つた。

『どうぞお上り下さい。』と眞介も出迎へる。

二つ三つ話してゐると、晩飯の食卓が運ばれた。

『何も無いけれど、お一つ』とお夏は宜太郞に盃を侑め、夫に侑める。

『イヤ私は駄目だ、眞さんは?』

『私も少ししか行かん』と云ふのを打消して

『噓ですよ、飮めば五合位は飮めるのですよ。』とお夏が笑ふ。裏の田圃ではもう蛙がコロ〳〵鳴いてゐる。

『此家は靜だねえ。』と宜太郞は左右を顧みた。

『兄さんの家は大變ね、此飯時なんか、まるで喧嘩のやうだ、それはさうと兄さん貴方は少しお瘦せなすつたね。』

『何だか身體の工合がよくない。』

『遠くから急いで歸つたりして疲勞が出たのでせう、私の處は靜だから、御都合で私の所へ來て居られちやどうです。』と眞介は勸める。

『さうなさいナ、兄さん』と兄の顏を見る。

『有難う、實は私も朝鮮に爲殘した事もあるのだから、三七日でもしまつたらまた朝鮮へ還りたいと思つてゐるのだが……あゝ是は詰らないものだが、お土產の印だ。』と風呂敷の儘押遣る。

『それは恐入ります。けども、そんな身體の工合が良くなけりや猶更だし、私も大兄さん一人ぢや心細いから、成るべくなら、靜岡に居るやうにやならないんですかね。』

『さア、さうも行きさうも無い。靜岡あたりよりは、活動の餘地の多い朝鮮の方が面白いに違ひない、サ、私も機會があつたら朝鮮か滿洲へ行きたい。』と眞介は妻の話を打壞す。

『可厭な事だ、あんな寒い處、私は行きやしない。』

『さう惡く云ふな、私が今迄居た處ぢや無いか、お父さんも一度行つて見たいと云つてゐられた位だ』と宜太郞は笑ふ。

『貴郎、自分ばかりさう飮らないで兄さんに盃をお上げなさいナ』

『さうか。』勝手の方で物の焦げる匂がする。

『オイ何だか臭いぞ。』と夫に注意されて

『おや、忘れてゐた』とお夏は慌てゝ座を起つた。

檜槕台次冷灰主人副題其漫作　惺堂　菊池晉

文章號撒自難侵。展卷欣然而我襟。嗣不能升蛟哭鷲。勢之所激水過卒。悟迷誰判佛凡境。長短何知鳧鶴心。新著看來感如許。一燈滋味更加深。菩堂曰、莊子以比喩、人心。此篇二聯亦乃術。

獨夜聞笛有感　松陂　山口宗義

長笛三更後。聲聲入骨寒。未酬千里志。豈顧一身安。臨風催白髮。繆渺停雲想。凄涼落月看。唯剩醉鄉寬。菩堂曰、句法沈著、氣韻如幽燕老將。

梅溪春曉　琴坡　土屋政朝

一鳥近枕啼。殘聲泄無迹。起倚小欄干。東方生虛白。山深澗戶幽。自卄蝎虛雀。門溜萱梅花。知與人世隔。臨水折一枝。花飛浸碎鬢。手掬春流漱。餘香吹入脈。菩堂曰、風調和、緬然去擬之跡。整而練、簡而遠。

秋興五首　鐵石　大澤眞吉

苜蓿秋深馬正肥。宦游當日法冠微。曾從雲路遊仙仗。明近星躔拜衮衣。鐵騎履霜山谷震。翠華拂露雁鳧飛。觀兵遺迹刀江畔。百里川原藹落暉。菩堂曰、格律齊整、音節亮爽、追想前事、不堪今昔之感。

寄樂　竹城　格山甚三郎

晴昔、皇都跡似煙。珠樓畫閣半桑田。春風只剩浮圖在。高聳櫻雲鬪鶴邊。菩堂曰、若遊倦心、飛蕩作誦南都七堂伽藍八重櫻花。是此之謂也。

(◇雜誌抄)

◆河川の天然に淸淨になる理由(學術講演集)

河川は何故自然に淸淨になるか、之は第一にての固形物は其の重量によつて沈澱し終りの液體は河底に生ずる藻が自分の養分となす爲め之を溶解して自體に吸收するのさ、又た日光による殺菌作用及び流水は細菌に適應しないためである(藤浪醫學博士)

○全ちとゆには萬年筆を賣るに限る
萬年筆販賣は利益多大とは世の定評である又實際利益多い者である機敏な商人は早くも之を覺て販賣に從事し多大の利益を得て居るのである弊商會萬年筆は實用本位として目下大評判の責任保證十四金ペン附也
地方販賣店大募集 出際申込者に限り從來の卸値より平均二割を引きたる卸値特價券を附す◉販賣希望者は至急申込みあれ
輸出並に卸販賣 各種萬年筆製造
ミドル本舖 不二商會 ◉東京市本鄕湯島六丁目十四番地 電話下谷二九七二番・振替東京九四六七番

肅親王殿下題辭 賴越五段著
圍碁實力養成法 相裝美本全一冊 金七十錢送四錢
斯界の花形瀨越五段が最近初學者の爲に實力養成上缺く可らざる接術の秘訣を親切丁寧に講解し何人も忽ち數目の上達すべき獨習速成書也
京城本町一丁目 大阪屋號 振替京城二五七三・電話八四四・六八二〇

出張所長 代理店長 有給社員招聘
右希望者は履歷書添附申込れたし(返信料三錢切手封入の事) 京城光化門電車交叉點角)電話一四四七番
大日本債券株式會社朝鮮支部
追而六月十一日十二日京城日報掲載の廣告中本年三月公布有價證券割賦販賣業法は近々施行相成儀と察し居り候就ては弊社は同法に依り未だ許可を受けし者には無之候も同法を參照せし販賣約款により營業致居り可申其點誤解無之樣特に申添へ候

お家騷動の絕間無き郵船會社……素水生
▽今までの騷動は序幕に過ぎぬ……▽次に來るべき大動搖は何か?……▽四人の辭退は果して本心か……▽加藤、正義と林民雄の睨み合ひ……▽大阪に於ける林民雄君の失敗……

實業之日本

九州の五大電氣會社比較評論……覆川
◎獨逸の長距離射擊砲……日給大西
◎米國の愛國的運動……
南米アルゼンチンに於る有利事業の經營法 在アルゼンチン 小松慶出 アルゼンチン國に於ける二大有利事業の內にて今後は何れを撰ぶべきか
國民への大警鐘……社長 增田
卑屈心を服する主人……新渡戶博士
◎鳥海山下の大噴油……
◎學生ハンモツク旅行案……浮田博士
山下龜三郎氏の人物採用の試驗法
事業的鬪士養成法
歐洲への輸出旺盛の山師的栽培流行の兆あり警戒せよ
農業家は大に注目せよ
靑豌豆の栽培 氣候、土質、品種、管理法に周到なる注意を拂ふを要す……
早老豫防健康術 (醫學博士の說明)頸の筋肉發達の運動、腦を太くする運動、肝臟を丈夫にする運動、胴の彈力法等……
草鞋の工學士(新聞記者)
小資本にて儲かるべき商賣三十種あり
六月十九日號一冊十八錢◉郵稅一錢◉下半年分金貳圓拾錢一年分五圓◉東京京橋 實業之日本社 振替東京二二六番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
振替貯金口座京城三三三番 電話六〇一〇番
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓
出張所 傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

縮刷 朝鮮法規提要
朝鮮法制研究會
▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 ▲特價一圓八十錢 送料八錢
(內容)
憲法、法例―憲法―法例―公式令
官規―官制―官吏―任用試驗―服務分限―諸給旅費
賞恤、恩給―褒賞―救恤―恩給―官吏恩給―年金恩給―退官賜金
文書附印鑑
地方行政―公共團體―府―面―學校組合―水利組合―地方費
社寺、宗敎―祭祀―神社―寺院―布敎―寺刹
兵事―徵兵―六週間現役―服役―徵兵入營旅費
敎育―朝鮮敎育令
衞生、警察―衞生―醫師―藥品―傳染病―種痘―檢疫―警察―犯罪―保安―遺失物―飮食物―銃砲火藥―宿泊―居住―墓地
財務―供託―國稅徵收―租稅―犯則處分―專賣―會計―保管
土地、林野、河川―土地―收用―調査―國有未墾地―林野―河川―水面―海面
法務―戰時―刑事令―監獄令―辯護士―訴訟代理業者―公證人―民事令
產業―商業―會議所―銀行―會社―對敵取引―米豆檢査―商業
交通、通信―……―道路―開港―航行―電
▲本書は朝鮮に於ける現行法令の必要なるものを網羅せり

賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇九番内十八番 振替京城三〇〇番

東京鋼材株式會社 東京製鋼株式會社 中村式鑛內用排揚喞筒製作發賣元
朝鮮總代理店
京城南大門外 電話一〇四番 一〇五番 中根商會
京城岡崎町 電話二六五番 中根工場

灌漑及排水用ポンプ

出張所開設
京城府南大門通壹丁目二十二番地
合資會社渡邊商店京城出張所
長電話二九〇六番
營業品目
內外洋紙、各國產紙、壁紙、襖紙、紙箱用一切其他各種
右之通營業開始仕候に付本店御同樣御引立愛顧之程奉希上候 敬白
大正七年六月
金澤市安江町
紙商 合資會社渡邊商店
長電話三十八番

元帥杖捧呈

捧呈辭並に御答辭

十九日コンノート殿下御參內元帥杖捧呈の際に於ける殿下の言上並びに 陛下の勅答を承るに左の如し(東京特電)

コンノート殿下の言上

陛下、アーサーはアーサーの君主にして皇兄たるジョージ皇帝より英國軍隊の元帥杖を 陛下に捧呈し 陛下の嘉納を請ふ可き敕旨を蒙りたり 陛下は旣に英國元帥の班位に列するを諾受せられ以て忠勇義烈中外の賞讃を博したる偉大なる日本軍隊と相協同するを誇りとする英國軍隊に對し至高の名譽を附與せられたるは即ち自由正義の擁護の爲め相協力する日英兩軍隊の指揮を鼓舞するのみならず又以て日英兩國を結合する同盟友交の不變の關係を更に表彰する所以のものなり、ジョージ皇帝陛下は日本皇帝陛下が茲に英國元帥の班位を捧ぐる本使節を以てジョージ陛下の不變の友誼、尊敬の特象とせらるる可き事を期し英國軍隊の最高班位の表彰を贈進するに適する事 陛下の右に出る君主無きを信じ賜へり。

天皇陛下の勅答

朕は茲に三度殿下を當國に迎へ欣悦に勝へず殿下の來訪は常に朕の衷心より歡迎する處なり朕の盟友ジョージ皇帝陛下の軍隊が不撓不屈毅然として常に敵の猛襲を擊退するは朕の欽賞する所なり今陛下が朕を此の驍勇無比なる軍隊の最高班位に列せられたるは即ち陛下の朕に對して推持せらるる友誼の深厚なることを表彰する所以にして朕の寵に感荷に勝へざる所なり朕今茲に親しく殿下より元帥杖を受納す欣快奚んぞ勝へん冀くば此の光榮ある寄贈並に之れが爲め特に殿下を派遣せられたる陛下の誠意に對する朕の感謝と朕が陛下を敬慕する念と陛下の厚誼優渥に對する朕の懇答とを陛下に傳へられんことを。

◎獨勢力東漸とセ軍

獨逸勢力の東漸は著々成功しつゝある形勢あり殊に高加索地方の獨軍はダーブ方面より漸く印度の境界に迫り險惡の狀歷然たるものあり更に極東セミョノフ軍其後の情勢は頗る振はず露支の境界に壓迫され滿洲里方面の形勢は遂に過激派に降服する乎支那境に遁入して其武裝を解除する乎の途に出でずんば滅亡の外策無しとも觀測さる(哈爾賓特電)

◎佛印刷物發送禁止

佛國軍務知事は政府の命に依り六月十七日以後定期刊行物及び廣告を含む印刷物を外國に發送する事を禁止したり(リオン電報)

◎ブ大將來る

露國穩和派のブルーグ大將は過激派の壓迫を避くる爲めハリヨフ大佐と共に十九日朝浦鹽より來浦山陽丸にて元山へ向ひたるが大將等は元山より哈爾賓に向ふ豫定なる由(浦鹽特電)

◎外交調査會開會

臨時外交調査會十九日午後二時より首相官邸に開會寺內首相以下各委員出席後藤外相より其後の對外情勢を概述し外交重要問題に就き審議同五時半散會せり(東京特電)

◎勸銀株主總會

日本勸業銀行臨時株主總會は十九日午前十時開會監査役二名の補缺選擧に松尾寬三大谷嘉平兩氏再選重任し尙定款を改正し農工債券の引受けを發行額の三分の一とするは從來の制限を撤廢することを可決し同十一時散會せり(東京特電)

◎奈良縣選擧結果

奈良縣郡部衆議院議員補缺選擧は十九日開票の結果左の如く憲政派に對し三百二十票の差を以て政友會の勝利に歸せり(東京特電)

▲六千十五票 福本寅松●●● ▲五千六百九十五票 中村準造

◎代議士團視察

代議士團一行は十九日午後一時三十三分著驛工藤長官其他官民有志の出迎を受け旅館朝鮮屋に入り同四時鎭南浦に向ひ同地を視察し九時二十分平壤に歸り大同館に於ける官民の歡迎會に臨み二十日午前八時より工藤長官の案內にて平壤市街及び戰跡等を視察し正午お牧の茶屋に於ける長官の午餐會に臨み午後一時三十九分發列車にて京城に向ふ筈なり因に一行中の森田代議士は奉天にて病氣に罹り滿鐵醫院に入院せし由(平壤特電)

◎鐵材益々昂進

四五の三日に亙りて行はれ未だ鐵材(第四千二百七十四噸)の公入札落札價格は空前の新値にして當業者の豫想より約一割五分高以上に [illegible] 大造船所の彌々殷賑なるに伴ひ交換鐵材以外雜鐵の需要を促し [illegible] するの止むなきに至り民間當業者次第に手薄を告げ相場頗る強調なりと傳へられ又輸出業者も [illegible] だに需要激增し在荷拂底に [illegible]

[illegible] 折沿線に於ける物資集散狀況其他詳 [illegible] の該線路調査も略ぼ完了を告げ許可近きにある者の如しと [illegible]

[illegible] 屋商店所有の自轉車一臺を竊取し興城に持ち行きたる所を寺村は聞 [illegible]

◎駐日瑞典公使

ネアンダー事件に關聯し發覺の噂ありし駐日瑞典公使ワルレンベルグ伯は先日歸國せしが其後任として加奈陀モントリオル駐在瑞典總領事ダヴィッド、ベルグストレム博士今回任命されしと博士は年齡六十歲にして瑞典政界の名士嘗て陸軍大臣の要職に在りし人なり

◎市場問題

京城府に移議さる

旣報の如く京城商業會議所に於て過般來より調査研究中なりし東城中央公設市場建設の議は既に其の市場條規案收支目論見書及び設計圖案の完成を見たるを以て一兩日前右調査設計書類を一括して京城府に移議し之れが實現の速かならむ事を切望し居れり右に關し大村書記長は語つて曰く當會議所が昨秋以來調査研究せし中央市場の建設に對する意見參考資料其他市場條規案收支目論見書及び設計圖案等は總て之を一括して京城府に移した以上自分等は他迄も本問題に關聯する事件に對し奔走の勞を敢て厭ふものではない諡し一般公衆の利益の爲めに之れが實現の一日も速かならん事を切望するからである

▲一件書類には當會議所副會頭釘本氏の名を以て『京城に於ける公設市場は現在及び將來に亙り極めて必要なる設備にして市場規則の法文より見るも早晩之を建設せざるべからざる事を思ひ弊所は京城の事情に顧み充分なる計畫を立て速かに之を實現せしむるを以て公益の增進なりと確信し昨秋以來其の調査に着手し其の結果を時々發表して世論に問ひしが幸に時勢の要求に應じ現在の市場經營者すら之に贊意を表する程となりしは頗る愉快なり而して其の實行に就きては偏に京城府廳に

▲信賴するより外途無き有樣なれば茲に市場記事を記せる會議所月報市場條規案附收支目論見書及び設計圖案等を一括して府廳の參考に供する、調査或は粗略にして條規の遺漏尠からざるべしと雖も幸に一般の希望を諒察せられ公設 [illegible] いて特に考慮を煩はしたし其の實行の一日速きは公衆に對して一日の幸福を進むる所以たるを信じて疑はず』との意味を添付して送附して置いた前して李王職の方には直接京城府から種々交涉があるさうである勿論弊所からも一應の手續丈けは濟ましてある

◎鮮鐵工事概況

各月末現在に於ける朝鮮線工事の概況如左

▲京釜線

一、金泉秋風嶺間線路改良工事(十哩一分)

竣成期間自大正六年一月二十日至大正八年一月十九日

土工々事六分四厘橋梁工事七分六厘隧道工事左の通りにして總體を通じて六分七厘竣成工せり

細松隧道(延長二百三十八呎) 側壁疊築 百七十二呎

大平隧道(延長千九百八十呎) 側壁疊築 六百四十二呎 拱疊築 四百十呎

新村隧道(延長千二十三呎) 側壁疊築 七百五十一呎 拱疊築 二百八十八呎

一、秋風嶺永同間第一工區線路改良工事(六哩八分)

竣工期間自大正六年五月七日至八年二月十五日

土工々事六分五厘橋梁工事左の通にして總體を通じて五分七厘通成工せり

黃澗隧道(延長二千三百四十三呎) 導坑掘鑿 延長二千二百四十六呎 側壁疊築 六百三呎 拱疊築 三百五十八呎

一、秋風嶺永同間第二工區線路改良工事(六哩八分)

竣工期間自大正六年六月廿一日至七年十二月廿二日

土工々事六分一厘橋梁工事六分四厘隧道工事左の通にして總體を通じて五分一厘通成工せり

挿嶺隧道(延長千四百十九呎) 側壁疊築 百二十八呎 拱疊築 十五呎

一、伊院停車場前後線路改良工事(五哩四分)

期間自大正六年六月五日至八年一月廿五日

土工々事六分三厘橋梁工事五分七厘隧道工事左の通にして總體を通じて五分六厘通成工せり

榛平隧道(一千十三呎) 側壁疊築 五百七十一呎 拱疊築 二百八十三呎

一、深川停車場前後線路改良工事(五哩三分)

竣工期間自大正七年五月十日至八年四月廿四日

土工々事零分三厘橋梁工事未著手にして總體を通じて二厘通成工せり

一、沃川停車場附近線路改良工事(一哩)

竣工期間自大正七年五月一日至同年十一月十六日

土工々事九厘にして總體を通じて六厘通成工せり

一、沃川大田間線路改良工事(殘工事八哩九分)

竣工期間自大正七年三月廿五日至八年九月廿五日

土工々事六分五厘橋梁工事七分九厘隧道工事左の通にして總體を通じて四分九厘通成工せり

白石隧道(延長二百九十七呎) 側壁疊築 五十六呎

立石隧道(延長三百四呎) 側壁疊築 二百二十七呎

將若隧道(延長三千三百九十九呎) 導坑掘鑿 一千九百五十二呎 側壁疊築 二百九十一呎 拱疊築 二百三十七呎

九丁里隧道(延長一千二百八十七呎) 導坑掘鑿 一千二百七十八呎 側壁疊築 四十八呎 拱疊築 四十二呎

一、龍山停車場構內地下道附近築其他工事

竣工期間自大正六年六月一日至七年六月廿日

土工々事九分其他雜工事七分七厘にして總體を通じて七分八厘通竣工せり

一、龍山停車場構內機關車庫其他新設工事

竣工期間自大正六年七月二十四日至七年九月十六日

五分五厘通り成工せり

▲湖南線

一、大田停車場本屋其他改築工事

竣工期間六年八月二十日至七年六月十五日

竣工九分九厘通成工せり

一、金堤四街里間線路改良工事

竣成期間大正六年三月十五日至七年七月二十七日

竣工せり

▲京元線

一、釋王寺元山間葛麻川橋梁新設其他工事

竣工期間自大正六年六月二十日至七年五月三十一日

竣工せり

▲咸鏡線南部

一、龍興江橋梁及前後土工其他新設工事

竣工期間自大正六年四月一日至七年六月二十四日

土工々事九分五厘橋梁工事八分八厘通にして總體を通じて九分通成工せり

◎軍司令官邸晩餐會

市川軍參謀長は松川軍司令官北鮮地方巡閲中につき代理として目下入京中の隈陸軍省經理局長を十九日午後六時半軍司令官々邸に招待し晩餐會を催したるが來賓は經理關係者約四十名なり

◎代議士團歡迎會

代議士鮮滿視察團一行は歸東の途次二十日午後七時二十五分(二十一日と記せしは誤り)入京の筈なるが三井物產京城電氣朝鮮郵船及び東拓煙草の四會社は一行の入京を機とし歡迎會を開催す可く一行が南大門驛下車と共に直ちに自動車にて明月館に案內し純朝鮮式の晩餐を饗す可しと因に牧山岡田兩代議士も陪賓として出席する由

◎倉知氏出發

入京中なりし中日實業副總裁倉知鐵吉氏は十九日午後七時五十分南大門驛發列車にて內地に向へり驛には川上理事等見送れり

◎柿內滙銀專務通過

滙兌銀行專務柿內常次郎氏は家族同伴十九日午後九時南大門驛著同四十分發列車にて北京に向ひたり

◎島田甲山銅山所長入京

甲山銅山所長島田利吉氏は內地より歸山の途十九日午後九時南大門驛著列車にて入京したるが數日中元山を經て赴任すべし

◎米山東拓庶務課長

內地旅行中なりし東拓庶務課長米山久彌氏は十九日夜歸京せり

◎管理所雇員採用

遞信局爲替貯金管理所にては今回內地人の男女雇員を採用する由なるが希望者は自筆の履歷書を差出すべしと

◎奥田地方部長歸京

歸省中の處十九日夜歸京す

人事消息

▲戶澤正三郎氏(新義州警察署長) 十九日夜朝鮮ホテル
▲淺輪雅信氏(釜山商業會議所書記長) 同浦尾へ
▲守田保太郎氏(東京製紙會社員) 天眞樓へ
▲瀧野勇氏(同上) 同上
▲松後氏(湖鐵社員) 同上
▲永井驄齊氏(大阪朝日新聞記者) 不知火へ
▲美島八郎氏(元山貿易商) 同日入京浦尾へ

百聞百種

過激派政府は露國廢帝並に廢后が逃亡の虞あるといふのでドキンスクからウラル山中の小村エカテンブルグに遷した廢帝廢后は僅か二名の從者に護られて具さに艱難辛苦を嘗めつゝ四週日にして漸く新配所に到著したといふが何んたる悲慘な末路であらう、まるで中世紀の劇的物語りのやうで聞くだに哀愁の念に禁へない▲日外の電報にあつた如く馮大總統が前淸室から三百萬元の借用をしたのは總統選擧費に使用するのだといふことを段派の一味の者が素破拔いたので之が問題を惹起してゐるとは何處迄も支那式だ▲要するに支那今日の有樣では南北の交讓妥協は容易な業ではあるまい、天津會議の光景など〻來たら實際眉を顰めざるを得ない此の千載一遇の秋に當り快刀一揮盤根錯節を斷つ底の偉人の出現せんことを望むや切なりだ▲獨軍の猛襲が聯合軍の爲めに阻止されたのは一に佛軍裝甲車の活動に因すと勇往直前到らざるなき獨軍もタンク丈けは眞ッ平御免と見える▲寫眞の乾板が日本で出來るやうになつた、軍用自動車も出來るやうになつたのは洵に以て同慶に禁へぬが唯此の上は墜落しない飛行機が出來て欲しい

本日朝鮮總督府公文附錄添付

◎大阪財界便り

▲紙製帽子好況

米國方面へ輸出の多き紙製帽子は輸入禁止品として包含せらるゝに至るべしと傳へられ市價の低落に伴ふ産地の製造手控へに有荷の豊富ならざる今日米國の輸入禁止とならざる事判明したる爲め市況は頓に活氣附き來り昨今一打につき九個五六十錢所を唱へ居れり之れを這般の安直と較ぶれば五六十錢方の引反騰なりと

▲蘭印禁輸再調査

蘭領印度總督は同領の輸出大宗品たるカポック、規那波、規尼涅、規那鹽、錫及び錫鑛(以上四月十六日)木材、煙草、砂糖、茶、胡椒、珈琲、コプラ、石油及び副産物の輸出を禁止したるが其目的は必需輸入品たる肥料、鐵、紙類、石炭、麥粉、煙草、酒類、米其他食糧の輸入減少し三月蘭船を英米に强徵せられし以來一層必需品缺乏を感じ由々敷大事なるを以て輸出禁止に依り輸入增加を圖らんとする方針を執り輸出特許の條件として輸出品も同類の輸入品を海外より搬入するを要すと決定したるが輸出商にして輸入商を兼ぬるは少なく新に輸入を開くには新に海外及び內地との取引を開かざるべからざるは勿論爲替の變動船腹の關係に於て危險も負擔するを以て輸出は停止して財界の攪亂貿易の自滅なりとて瓜哇其他各地の商業協會蹶起して政府の再考を迫りし爲め總督は更に商議委員を任命し慎重審議する事に決定せりと(在バタビヤ杉本領事報告)

▲純絲紡績有望

純絲紡績業は外國に於ても約三十年來の發達なるが近來楮、雁皮、三椏の紙絲原料中多く三椏を用ひ手工を以て紙絲を製し其大部分を夏帽子の原料に用ひてパナマ代用品として歡迎せられ海外輸出も增加の勢なるを以て其原料供給の目的にて小規模なれども紙絲紡績會社の創立もあり品質良好にして格安なれば紙絲としても輸出するを得べく

▲米棉先約成立

米棉相場昨今の趨勢は保持合の狀にて差したる波瀾なく依然八十圓臺を上下しつゝあるを以て此上八十圓臺を割るが如きは容易に豫測する能はず寧ろ今後は低落の反動相場に一變するやも測り難く棉花商中には早く見込を附け先約に著手したるものあり前途再騰落の見込少しとすれば自然値段關係上先約に氣乘するに至らん傾向なるが一方印棉は依然昂騰相場を持續し米棉との均衡取れざる爲め紡績側の印棉準備も本年中一杯は間に合ふ事情もあり來期低落の時期待の狀なりと(大阪支局)

斯業者には一般粗製濫造の多きは其弊なりと

◎吉會鐵道借款豫備契約成立

日支間多年の懸案たりし吉林會寧間の鐵道は愈々建設さるゝこととなり吉會借款豫備契約は十八日午後五時日本興業銀行代表者及び曹汝霖氏との間に成立し調印を了したり本契約は六月以內に締結の筈なれば近く締結を見るべし(北京電)

◎遣佛飛行隊出發期

伊太利政府より我が陸軍航空隊に對し飛行將校派遣方依賴し來りしを以て陸軍當局は交通兵團司令部とも協議の結果將校三十名職工十名兵士一個中隊を派遣することゝなり八月出發の豫定なり(東京特電)

少女畫報

可愛らしい 少女新聞 見本進呈

寫眞小說 ▽舞ひ扇 意匠の巧妙、寫眞の精巧、變化ありて面白く波瀾ありて興味盡きず 高島顧問

◎物は諦めやう……

「虫を食ふ猪籠草」……伊藤博士
「やどかり」の引越……竹島敎諭
潜水器の話……記者
少女英文と和文……岡田敎諭

◎燈臺守の少女……渡邊文子

「浪の音」(少女繪物語)……河村目呂二
「玉川の一日」(繪物語)……
「子供の句」(少女俳話)……荻原井泉水

◎日曜日の印象……杉田雅夫

女學校評判記……記者
夏の菓子……指原乙子
夏繡袢の袖……吉田とく
第四回少女講話會……記者

◎少女小說 白菊(近江) ▽蝶子(小劍の父)

記者の日曜……鷹見思水
後の雛芥子(花物語)……吉屋信子
我しければ(歌劇)……村岡澤

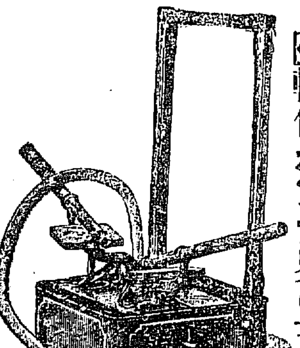
口繪 △白百合の精(原色版) △涼しい夜の海(オフセット)

七月號 ▲定價拾八錢(郵稅壹錢)

東京京橋疊町一 振替四千九百番 東京社

輕便ポンプ界の王者

磯式手押足踏ポンプ



熊平支店 京城

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著

日鮮會話精通

袖珍總クロース頒美本◉七百餘頁◉定價一圓三十錢

諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書に眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

眼科專門 入院隨意

江頭眼科醫院

京城明治町東拓橫(電話二〇四四番) 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

京日案內

▲申込後中途取消の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は必ず返信料御添付 ▲御照會は必ず數字の番號

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金

給仕採用 日鮮人十六歲以上希望者は履歷書携帶來所あれ 黃金町二丁目 帝國興信所 223

◎看護婦募集 派遣多忙至急申込あれ 京城明治町二 電話一四一〇番 惠愛看護婦會 220

▼融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御相談同上候 大和町三ノ三(病院前)起木屋 京城 228

時計見習入用 年齡十四五六歲希望者は本人來談あれ但要保證人 太平通二電二四二五 向井時計店

◉ミシン職人募集 平壤大和町 小町屋商店 219

金融 官吏月掛商人五日掛にて極秘迅速に御融通す 本町四ノ二(電話二七九六番) 山田

○中古ミシン買入 御用の方は電話又端書御一報乞 京城鍾路二パゴダ公園近電二三三八 楠商店 62

眞正魯桑精良種 優良成熟採種普通有鱗品にも非ず金鐺の種撒は今也申込あれ直送す 京畿道安城市場 朝鮮勸業商會

●●●古本 高く買ひます 安く賣ります ●●● 交換いたします 京城新古書籍交換所 京城本町 電話長一三四二 281

年金恩給 最も期限立替 利息極安前引なし 四年半迄保險不要 ▲京城永樂町 品陳列館表門前 江州屋本店 234

夏物大賣出し

六月廿一日より五日間

景品差上申べく候

日の丸小間物店

京城本町二丁目 電一九二〇

一、鍊鐵材外拾九點

右競爭入札ニ付ス詳細ハ六月二十日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ揭示ヲ見ヨ

朝鮮總督府

……しだるも愈々八幡製鐵所の
▲第二回目拂下 も十三、……不定尺板一千三百圓見當にて賣に一箇月以前の價格に比し總て百圓騰みの高値を示し中にも鐵板類の……一時市況沿付の……下廻の市價も
▲自然上進歩調 に轉化するや疑ひなく殊に船鐵交換加盟の……拂下鋼材を買進むに至る可く而も米國にては當局の軍需品製造の爲め殆ど總ての鋼鐵所は全力を傾注……雜困難なる狀態なるのみならず當局は容易に許可を與ざるを以て
▲最近米國市場 の在荷も……て船腹不足の折柄先約物の入荷も捗々しからず米鐵の輸入は當分見込み立たざる情況なればさらね……

◉五州輕鐵請願 江原五州輕鐵期成同盟會にては先般來希望……て關係各地方有志數百名の連署を得總督府初め各筋へ夫々提出したるが頭者聞く處に依れば鐵道局側……

某方に雇はれゐたる自轉車職工西山吾市(二一)は寺村某と共謀し五月中京城南大門通り某所にて本町署……同人も開城署に押送されたり

□森嚴なる御式

宮城正殿に於て元帥杖並びに英帝の御親書を捧呈せらる

英帝御名代コンノート殿下には御入京第一夜を霞ケ關離宮に明かさせられ十九日午前十時半愈々御使命の元帥杖を　天皇陛下に捧呈遊ばさるべく離宮御出門あり此の日殿下には緋の美しき

♣英國龍騎兵少佐の御正裝に先年我が皇室より御贈進の菊花頸飾章

其他御佩用伊集院元帥の陪乘にて華麗なる儀裝馬車に召されバルトニー中將グリーン大使等亦禮裝して儀裝馬車三輛に分乘して扈從近衛儀仗兵の警衛裡に鹵簿嚴かに二重橋より入らせ給ふ鹵簿宮城御車寄せに御著あれば戶田式部長官御出迎ひ申上げ殿下を西一の間に誘導し御休憩の中に御式場たる宮城正殿には正面玉座に向ひて左には參列の山縣元帥松方內府、東鄕、寺內、井上、長谷川、川村、伊集院各元帥後藤外相加藤海相大島陸相及び接伴員全部右側には英大使グリーン氏以下隨員一同何れも大禮服にて佇立し　天皇陛下には正十一時

♣陸軍樣式御正裝にガーター勳章並びに菊花頸飾章其の他を御佩用、

戶田式部長官の先行、御參列の伏見宮、閑院宮、東伏見宮、伏見若宮、朝香宮、東久邇宮、北白川宮、李王世子、各宮殿下を初め波多野宮相、正親町侍從長、內山侍從武官長の扈從にて出御一段高き玉座に就かせ給へば各宮殿下は玉座の右側に侍從長以下は左側に侍立す此時御名代一行は伊藤式部次長の先導にて大尉シンクレーヤ、少佐ペンブルトク、中將バルトニー、最後に御名代の御順序にて式部樂隊の英國々歌吹奏裡に御參進あり、英大使は御式場入口にて一々隨員の名を　陛下に披露し奉れば順次玉座近く進みて敬禮を爲し玉座前左右に分れて侍立

♣最後に御名代の宮殿下の御參進あり敬禮の後階段を昇らせ給うて

英帝ジョージ五世陛下の御親書を御封のまゝ奉りて階下に下りさせられ次に御使命書を朗讀あり左に侍立せる稻葉式部官より譯奏し奉らせ是れに對し　陛下の勅答あり終りて隨員の一人が捧持せる海老茶色布張りの細長き御箱に納められたる元帥杖を殿下に奉らせ殿下には再び階段を昇らせ給ひて御箱の儘　陛下に捧呈あり階下に御退りの後敬禮あり式部次長の先導にて隨員を隨へさせられ英國國歌吹奏裡に御退出遊いで　陛下にも入御あらせられ森嚴なる御式茲に終り殿下には再び西一の間にて御少憩午前十一時十五分宮城御退出離宮に御歸還あらせられたり。

□霞ケ關離宮行幸

陛下より御答禮—慇懃なる御握手

天皇陛下には十九日午後三時四十五分陸軍の正裝を召され正親町侍從長御陪乘波多野宮相內山侍從武官長以下供奉し霞ケ關離宮に行幸遊ばされたり梅雨空輕く陽の光りを洩らしたる頃鹵簿離宮に御著あればコンノート殿下以下隨員川村伊集院兩元帥等御出迎ひ奉り殿下には慇懃なる御握手を交へられて大廣間に御誘導此處にて　陛下より御答禮御挨拶あり稻葉式部官御通譯にて種々御談話の後御告別殿下以下の御見送りの裡に　陛下は午後四時半還幸遊ばされたり(東京特電)

●四時管通水

十九日より多少豐富となるべし

京城水道は給水不足なる爲鷺梁津の仁川水道水源地より十萬立方尺の連絡通水を通すこととなり十六時鐵管埋設の計畫を爲せる事既記の如くなるが該鐵管未だ全部到著せざる爲め應急手段として變に六時管を埋設せしが其後又四時管布設中の處愈々竣工し十九日より通水を見るに至りたれば多少給水豐富となりたる譯なり

◇小林萬吾畫伯作品展覽會を見る

目下京城ホテルに於て開會中の小林畫伯油繪展覽會を見る總數四十餘點

堅實なる筆致

◇洋行中の小品三四を除き他は總て內地の風景を寫生せしもの堅實なる筆致と明かるき色調とに依つて氏の穩な自然觀を巧に表現してある重なる作品中

春の氣分か……

◇桃の花園、桃の里、桃畑等卑俗におち入り易き場所を描きながらピンク色の悲調に輕快な筆致を以て巧に春の氣分を捕へ李花、行春は同じく灰色の田舍を描けるものなれど木も家も森も平和なる田園の雰圍氣にある李花の方優り浦の入江の强烈なる眞夏の陽を描けるもよく瀨戶內海千振島同、大島の遠望、佛國ブルターニュの海岸等何の苦心もなく描かれしため氣もちよく日本室の裝飾としても手頃なるべし

穩かな趣味性

◇湖畔の雪浮世繪を觀る如く老人の肖像に氏の穩な趣味性が窺はれる、ダリヤ、薔薇の甘きには反感を起せしも花園、躑躅園、燃ゆる躑躅等は小品なれども些の衒氣もなく氏の行くべき道を思ふまゝに表はせし佳作なるべし會期廿三日迄(新)

◇小林畫伯作品展覽會 —京城ホテルにて—

●畑の中から軍艦

正體は遼河に泛んでゐた露國砲艦

◇シウーチ號の自爆した成れの果　三百圓で買つたのが卅萬圓

目下京城滯在中の大連某實業家の談に依れば戰爭の影響で鐵類が一躍十倍以上の暴騰を來したので滿洲では何處へ行つても鐵沙汰で

◉鐵成金 がザラに飛び出した、面白いのは日露戰爭當時日本軍が旅順を陷落し續いて奉天を占領したので遼河に泛んで居たシウーチ號(一五〇〇噸)と言ふ露西亞の砲艦が進退谷まり營口を去る約九十五滿里上の流束地點で自爆したのを某代議士が海軍省から權利を買ひそれを

◉三百圓 で或實業家に讓つたまゝ今日に至るまで空しく地中に埋れて居たのであるが二三年前から鐵類暴騰で銹鐵までに篦棒な値が出たので十數年目にやつと浮び上る事となつた不思議なのは自爆當時は

◉遼河の 兩岸であつたのが流域の變化から今では東岸の然も江岸から離れた畑の中に埋もつて居るとかで目下畑の中から軍艦を掘り出して居るが三百圓で買つた艦が今では三十萬圓の相場だと言ふので持主の鼻息は非常に荒いさうであるも一つは同艦と殆んど同時に

◉沈沒し た三百噸許りの商船が此れも江岸から二十間も離れた畑の中に埋沒して居るが此邊一帶は馬賊の巢窟で此れから後高粱が繁茂すると渠等の跳梁跋扈甚しく日本人藥屋などが時々殺される極て危險地帶である相な

●喜多四段入京

手合希望者は本社へ

既報の如く喜多文子女史は十九日午後九時南大門驛到著、山本旅舘に投宿したるが京城滯在中は懇望者に對しては手合せに應ずる由希望者は本社營業部に申込まるれば紹介の勞を取る可し尙二十三日白水に於て催さるゝ歡迎圍碁會に於ては紀元氏と對局の筈なり

●大邱の大相撲

大邱相撲初日は支局好みの飛つき五人拔等ありて非常の喝采を博し午後五時半盛況裡に打出したり

勝		負
伊達錦	(引おとし)	玉の川
能代潟	(つきだし)	小牛田山
小田山	(つきだし)	白岩
大岬	(上手なげ)	鶴の海
琴ケ浦	(下手なげ)	藤の川
大戶平	(よりきり)	錦島
大潮	(三所せめ)	千葉崎
鳳	(突はなし)	三杉磯

尙五人拔優賞は三中井吳服店寄贈の副賞品と共に海月の手に入れり(大邱特電)

◆女碁客喜多文子女史入京　女碁客喜多文子女史は十九日午後九時南大門驛著列車にて入京したるが驛には山三段、原三段、紀元氏其他碁客多數の出迎あり女史は山、紀元氏等の案內にて山本旅舘に投宿せり

◉新に命名された木浦ヌカカ

千潟地に生育するか　學界の貴重な研究材料

この頃から夏の末にかけて木浦を訪うた人は乾度カルタゴの針のやうな襲擊に苦しめられた不快な經驗を有つてゐるであらう、カルタゴ〳〵、之は實に木浦附近にのみ棲息する極めて微小な昆蟲なのである、重なしく

◎曇つた日 若くは雨の日は日中でも出沒するが主として夕景から夜にかけて現はれる、常に多數群を爲し好んで人の毛生部に侵入してチク〳〵螫す、その痛いこと、然もその跡は南京虫のお見舞でも受けた時のやうに眞赤に腫れ上つて痛いやうな痒いやうな一種特別の不快を感ずる、それで木浦では夕涼みは勿論のこと

◎蚊帳の中 に迄ドシ〳〵這入つて來るので夜もオチ〳〵眠られぬと云ふ隨分厄介な虫である、このカルタゴは擬蚋亞科クリコイデスに隸屬し學界の貴重な研究材料であるが從來全く知られて居なかつた昆虫學上の一新種である、カルタゴは朝鮮音、此外には別に呼び方もなかつたが今度

◎新に和名 を『木浦ヌカカ』學名を『クリコイデス、ミハラ』と命名された『ミハラ』としたのは木浦模範支場の三原技師がその紹介者である所からその姓を取つたのだと云ふ、木浦ヌカカは一見內地に存在する『プユ』若くは『ブト』に類似してはゐるけれど分類學上では科を異にし全く緣の遠いものである、人を襲ふのはカルタゴの成虫であつて幼虫及び卵は

◎千潟地に 生育するもの と認められてゐるがこれは今尙研究中である、カルタゴは大抵雌で雄は極めて少ない、前の三原技師は今年になつて始めて雄を捕へ得た程なので『カルタゴは多分一夫多妻主義であらう』と言つてゐるカルタゴは口器の一部たる劍狀の上唇で人の皮膚を刺し吸血するのであるが頗る微小なので

◎顯微鏡の 力を藉らねば到底分らぬ、そして更にその內部の小顋鬚の第三節內側に毒腺と見做すべき感覺器狀體がある、螫された跡が腫れ上るのはこの爲めであらうとのことだ、カルタゴが大群を爲して出現するのは年二回で第一回は六月上旬から下旬まで第二回は八月上旬から九月下旬までゞあるがその間の消息はまだ〳〵判然して居らぬ、從つて

◎學者研究 の餘地も茲にある譯であるが要するに從來未知の昆虫の所屬が明かになりその學名までも命名されるに至つたのは確かに昆虫學上の新發見として紹介する價値はあると思ふ

●蚊に泯された希臘

恐る可き害毒の蚊を驅除せよ

◇京城では清溪川に沿ふ低地方面が蚊の極樂場◇

バラチブスやマラリヤの流行する昨今の京城には夏の夜の結び難ない夢を破る蚊の鳴き聲が聞わ初めて早い家では最早

◆蚊帳を吊 つて居るのもあれば蟲干して居る家もあるが此蚊と言ふものは只單にうるさいものとして厭がられてゐる許りでなくマラリヤ熱や黃熱病フイラリア病等の專門の媒介者と言ふので非常に恐れられてゐる五月頃から十一月頃まで子供が多く冒される三日熱や熱帶熱四日熱なども

◇アノフエレスと言ふ蚊の傳播に依るものであるから夏期衛生上蚊と蠅とは極力驅除を計らねばならぬが一般には未だ蚊の害毒が知られて居らない外國ではあの隆盛を極めた希臘民族が衰微したのも惡性のマラリヤ熱が流行したゝめで言ひ換へると蚊に泯されたのであると言はれて居る程で蚊に對しては

◆不倶戴天 の讎の如く考へ有ゆる手段を講じて之が撲滅を計つてゐる巴里などでは百六十四年前に唯一匹の孑孑を發見したとかで大騷ぎをし言ふ話があり紐育の郊外では十年前に蚊の大驅除をやつてからは乳牛や鷄がメキ〳〵發育し

◇地價にまで好影響を齎らしたさうである此を以て見ても如何に蚊の恐る可きかゞ窺はれよう京城には蚊が多く殊に水下町から清溪川に沿ふ所の低地方面は地が濕潤で溝渠に蓋がないため蚊の發生には都合がよいので堪へ難ないまでに蚊軍に襲來されるが斯る方面では出來得る限り

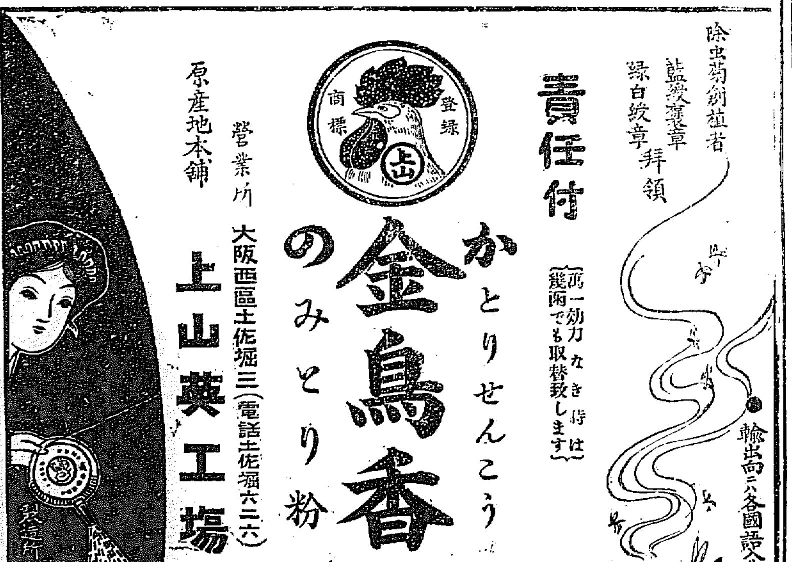
◆下水溝を 完全にし蚊の發生を防ぐために孑孑の湧くやうな所に石油を散布して撲滅を計らねばならぬ

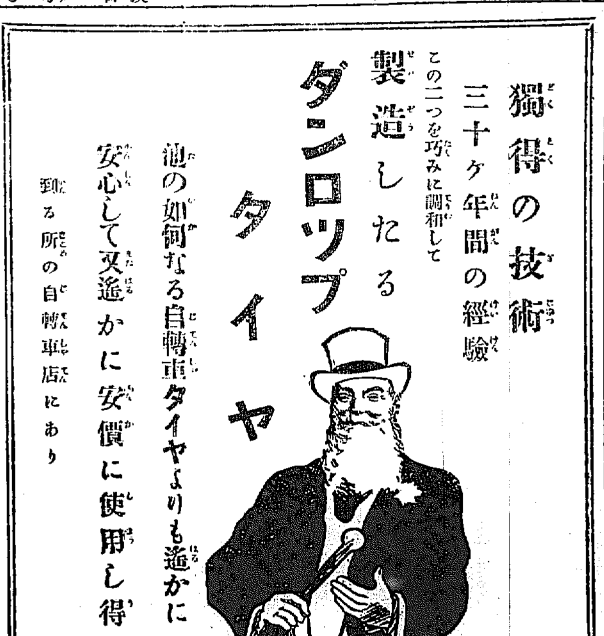
◉武田和尚追悼會

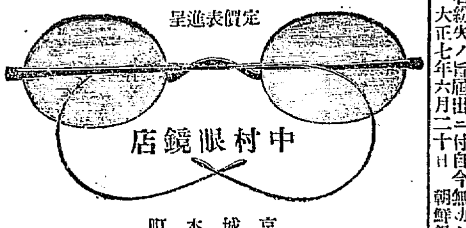
二十三日午後四時龍山瑞龍寺に於て故武田和尚追悼會を執行する由

◉三浦副官轉居

憲兵隊司令部副官三浦大尉は此程西七軒町より大和町二丁目の元小山田少佐居住の官舍に轉居せり







株券無効公告
朝鮮銀行新株式五株券壹枚
第壹壹參四號井上義弘殿記名
右紛失ノ旨届出ニ付自今無効トス
大正七年六月二十日
朝鮮銀行

銅眞鍮線
京都疏水秋月橋　電上六二三
河本製線工場

榮養ヲ增進シ
精力ヲ旺盛ニス
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
グリコナール錠
一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等ノ濃厚滋養料ノ先足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス
百錠金壹圓■各藥舖ニ有リ■說明書進呈ス
東京室町　三共株式會社

妻の心（十三）

小林蹴月作　武内桂舟畫

（三）の四

『それぢや、識さんお前にも久三郎さんの出先は分つて居ないとお云ひの？ 衛めにも代議士と云ふ肩書を持た一個の紳士が、自分の妻にも出先を明さんで、二日も三日も姿を晦まして居るなんて云ふ事が、何處の世界にあります？ 口穢く云ふんぢやありませんが、久三郎さんも久三郎さんなら、お前と云ふ女も、大抵呆れて物が云へないぢやありませんか。今更になつて、死んだ子の齢を算へるやうなもんぢやあるけれど、彼の櫻井の順さんとお前と娶しといたら、這麼苦勞を爲るやうな事がなかつたらうにと思ふと、妾はもう殘念で殘念で仕方がありや爲ないんですよ。』

喜久子の云ふ處を、必ずしも無理とのみ思ふのではないが、然りながら又、自分を產んで與れた母の言葉としては、可なり無理でない事もないと、識子は思つた。殊に、森ケ崎の望月爺と云ふ事を、明さうか知らんと、咽喉の先まで出かゝつた語を、熟と呑み込むやうに嚥み下して、

『阿母さま、何と被仰られても妾がおろかな爲めに違ひありません。生憎と妾が此の病氣でさへなければ、自動車になりと、汽車になりと乘つて、良人の在所を探して參りますんですけれども、御覧の通りの仕末では、それも出來ませんし致しますから、情願妾に免じて、茲一兩日の所は、御辛抱遊ばして下さい。何百遍同一事をお願ひ致したツて、仕方が御座いませんけれども、……情願ね、阿母さま、妾を助けると思召しまして……』と、識子は、其の細い眞白な手を合はせながら、唯只管に頼むのであつた。

『……仕うしても、お前に久三郎さんの居處所が分つてお在ぬと云ふのが本統なら、そりやまあ、お前と妾で、夜の明くるまで押問答を爲たところで、際涯の付きやうはありや爲ませんから、發じるも発じないも、そんな事は、二の次の問題ですけれどね、それにしてもね、識さん、大覺悟を爲べき時期が、正しく到着しとるんですよ。』と、喜久子は、思ひ切つて、根強い聲に云ひ放つて、揺ゆくもないのに、小鬢の邊を指の先で掻き上げ、

『妾のやうな昔者には、分りませんがね、世間の事は何でも、機會を見損つて了うと、後から泣いても笑つても、必ず取返しの付くもんではありませんからね。』

『了解りまして御座います。阿母さまの被仰つて下さるお語は、一から十まで、善く了解りまして御座いますから、……もうそのやうに被仰つて下さいますな。妾は何だか胸先が痛んで參りましたので……』

識子は、餘りと云へば、母親の執拗いのに堪へがたくなつたので、涙ながら身體を半分ばかり突俯して了つた。

『胸が痛み出したんですか。では、まあ妾は隱居所の方へ引退ると爲ませう。お藥でも服んで大切に爲とくれなさいよ。』

喜久子は、好い加減の切上げ時と思つたのであらう、這麼事を云ひ殘して、餘儀なさいうに、次の室の方へ起つたのである。

と、それと殆んど摺れ違ふ位に入つて來たのは、古參のお傍であつた。

『奥樣、御用談はお濟みになりまして御座いますか。』

『おう、彼やかに、用談は今濟んだ所ですが何か用がお有りの？』

『はい、實はあの、櫻井の若旦那樣が、一寸奥樣にお目に覧りたいと被仰つて、先刻から應接にお待ちになつてと御座います。』

『はツ、櫻井の順さんがお見ねに……』と、識子は、額に深い八の字を描いて、少時熟と考へ込んだが、

『此の通り取散してはあるし、氣分が勝れないで困つとる所ですから、お前妾に代つて、御用の事をお訊きしといて下さい。』

『奥樣、そりやもうお易い御用で御座いますけれども、櫻井樣の被仰りやうでは、何でも旦那樣の事に關して、ほんの五七分間でも關はないから……と、斯樣に被仰つて御座います。』

『なに、旦那樣の事に關して……昨日も一昨日も電話でお問合はせ爲た時には、一向に知らぬ〳〵と被仰りながら、今日になつて、自身お越しになるとは、少し合點が參りませんね？ では、失禮ですけれども、此處へお通しして見て下さい。』

牛乳　朝鮮ホテル 病院 御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

●輸出食品會社の增資　輸出食品株式會社は去五日の臨時株主總會に於て資本金を三倍に增資の件議決せり、同會社の事業は從來鑵詰製造に於て鮭鱒の罐詰及鹽引の製造を爲し來り創業後僅かに六箇年にして三割乃至三割五分の配當を爲し且固定財産の償却及準備金の積立等を續行し財産狀態極めて安固となれり而して本年度よりは尚は一層事業擴張の計畫を立て今春露人デンビー氏より其所有の勘察加漁場三箇所及之に要せし設備一切を買收し且新にオコツク海に八箇所漁場を獲得して事業を增大すると共に去月八日朝鮮水産株式會社を合併して朝鮮近海に於ける漁業經營を繼承し今秋よりは盛に鰮の鹽漬を爲すの計畫なるが此如く事業の擴張を爲すに伴ひ多額の資金を要する爲め資本金二百八萬圓を增加し之に對する株式は舊株一株につき二株の割合を以て總て六月十五日現在の株主に割當つることゝし六月二十六日より七月一日迄に金十二圓五十錢宛拂込むことに決議確定したるが思ふに同會社の事業は前途益々發展するに從ひ利益も亦從て增加し更に增資の機運に向ふは決して遠きにあらざるべし

日報歌壇

○夏の夕　鎭海　秋村

モーターボート一つ出で行き寂寥さ人影もなき棧橋の上

餅銀のかたへの木立濃せる京城の空のなつかしきかな

風清き馬山の海の朝あけにさもづなたゆに舟出せしかも

○アカシヤ　新義　酒井綠雨

初夏の夜のしじまに立てばほのの白きアカシヤの花匂ひたつかな

○郊外の朝　永登浦　紫牛

自轉車のタイヤのわだちアカシヤの花散り満てり郊外の朝

○初夏　龍山　殘鐘

路にたのあぜ道ゆけば土蒸れのにほひすゞしも初夏の雨

○梅雨　京城　英吉

はつ夏の雨のすゞしくふりも降る朝なわが宿の薔薇みる

たらちねの母のもとにて今日もかも心一ぱい不平ないふかな

○永登浦　京城　靜零

うれしくに風ふくましに寺寥の穂波かへして自めりま

たまさかに都さかりて此處にあり今日こそ見たり苗代の苗

日報俳壇

春季雜詠　大阪洞頃

女客去りて春の夜更けたり　背史

内地戀し殊に浪華の春の雲
岡木の巣鳥が啼くや春の月
囀り進むや岡越に潮が光り居る
掘門にボストが起つて眞葉東風
春風に曲り登る坂の小家かな
馬上仰ぐ四山低くさ春の風
町見えて轍澄む馬車や花菜風
汐を汲む大き水輪や春の海
屋根葺ける丘の小家や花菜風
甲板洗ふ素足に春の潮かな　楚川

耕し果て大きに出でぬ霰の月
土手崩れて襤褸の芹田哉
春の草極りて海の光りかな
居馴染る官舎の庭の木の芽風
歩み板に立つ舟人や春の月
洲を抱く岬一つや潮干狩
舟、舟を待つ河裾や潮干狩
淺照に貝麗しや潮干狩
砂の窪に巣貝の泡や夏近き　味川

●蘭亭岡崎洗耳宗匠送別雅莚　今回篤實温厚なる蘭亭岡崎洗耳宗匠には公務の爲め龍山軍經理部より大邱軍派出所へ轉任せらるゝことになり依つて宗匠が永らく牛耳たる白揚、胡蘆の兩吟社及文會同人主催者となり、六月十三日新龍山三角公園一號亭に送別俳筵を張る。會する者百餘の知人門下生二十餘名、詩を語り俳を論じ離歡を罄めて惜別の情炎一室に漲ふ、席上即念揮毫の後新題を捕へて運座を開く。席上俳筵秀抜『ラムネ』『夏見舞』

汗を拭つ場所茶屋やラムネ店　孤竹
店頭に冷水浴やラムネ瓶　蘭考
軒頭の噴水池やラムネ店　竹
走り寄る野茶屋やラムネ冷しあり　古
提げて行く飴涼しけり夏見舞　孤竹
自居に染むる一詩や夏見舞　同
ラムネ抜けば俄かに起る雲發哉　才
夏見舞抄な大事にせよとあり　孝
一行が著けばラムネの足らぬ店　同
夏見舞悲愛あふるゝ母の文　孤
いさゝかの清水を摘やラムネ店　羽
夏見舞屆暑して這入りけり　白
夏を行く主に採ぐる玉ラムネ　同
孫どもの腹巻添へて夏見舞　骨

新刊紹介（到着順）

△戰時及戰後の米國（山田毅一著）德富蘇峰先生本書を許して曰く『其敍述の詳悉極めて廣汎にして實に經世有用の文字と云ふも不可なき也』目次を摘記すれば、諸起せよ（緒論）同胞諸君、（第一編）米國建國の由來と政治組織（第二編）教育制度（第三編）財政と殖產興業（第四編）國防と海運（結論）戰後の米國と外に北米遊記、日貿田男一行の使命、守屋君の將來米國觀と附錄放天義塾の事業及び設立趣意書等あり四六版、頁五十頁、一圓三十錢、東京巣鴨放天義塾）

△夢の世界（六月號）議長開動夢物語、家屋の疵、飼草根際論、感想無量、冥土端語、築野の惡夢、女三助物語、若菜の伊春可行四人、喧嘩切番人、擬夢、探偵夜話秋父風説はなかのみ其他（中五錢、東京芝西久保町二五東京通信社）

△卿汁（二）烏猫　鬼城　爭論（小野蕪子）花影刊號（石鼎、句集及び雜さんの記（馬場蝶）守捨派さいふこと（鬼城）出上から（谷潤一郎）例會より（近藤浩）二人の問答（猶股電火）日々俳句會、灰皿、雜草等（十錢、東京芝高輪南町三〇小野賢一郎氏方其發行）

●懸賞募集　創刊の滿洲教育品展覽會にては左の懸賞募集を爲す由

（一）教室に於ける生徒用机及腰掛若しくは椅子の改良考案圖（二）女學生服裝の改良（三）經濟的營所（炊事場）設備の改良圖案（但し煉瓦建家屋の滿洲向）右懸賞は各一等より三等に分ち一等（百圓）二等五十圓三等三十圓の標準となすべしと應募者は大連同事務所に照會すべし

●新奈好景氣　來る七月二日より賣出さる、第六十八回と第六十九回勸業債券は利率勸んなりし初回より三回迄二千圓十六本首都に於て好條件なれば此點に於て一般の兩求を博すべく又先般各地に於て賣されたる兩券も其實相知れ渡ると共に債券界の…たる月兼社は其の節の趣旨を擴し新治崩法を開始したる由にて人氣落付きたれば此際一般に應募すべしと

●電氣學校通信教授　東京市神田區錦町三丁目の電機學校は方今電氣の時代に順し其の發展驚くべきものにして去る明治四十生一千二百有餘名現在生徒數二千四百有餘名なりしと尚同校の獨特の通信教授を施す本科講習生の科も亦盛況を極め豫科講習生徒數設以來今日に至る二箇年間に學生二千二百五十二名の入學者を算したりと電氣工業界のため一快事たるを失はず

讀者の領分

△お尋ね生に答ふ徵兵適齡は前年十二月一日より其年十一月三十日の間に滿二十歳に達する者なる故明治二十一年十二月二日生の者は明治四十二年適齡にて同年檢查を受くべきものとす（軍司令部）▲私は遺族扶助料を戴く者で御座いますが京城日限から呼出されて度々御出下されしも不在にて御面會も出來ませず何の御用にておいで下されしや人傳にてはわかりませんお尋ね致したい事も御座いますから今度御出下さる時は電話でも御掛け下さいます樣願ひます（龍山某女）▲往年權重顯氏が韓國大臣として時めける時校洞交番前にて兇漢に狙はれ遺偸の日本巡査一人挺身之が防禦の任に當り警巡檢は皆逃亡し直前の交番よりは一人の應援もなかりし實例あり後に上司其交番所巡檢を呼出し何故彼の危急の場合應援せざりしかとの訊問に對して該巡檢曰く余は休憩時間なりしと銀行や休憩時間に關係して諸者の感想如何（天下の浪人）▲愛犬にサナダ虫が居て困つて居ります其療法を教へて下さい（愛犬家）▲近頃龍山の或る一部に三味線を入れて騷ふ所る人ステゝコ騷ぎなやる方がお有りなさる時局と世間を憚らぬ犬の不心得ではありまするまいか（或夜通行生）▲永樂町に此頃御轉住の嚴めしいお役所へ御勤務の奥樣中々論議の御上手の樣に僕が朝から晩まで美辞を振り上げての御熱心は味噌の價格にまで影響を及ぼす下級生活者は迷惑に候我分は他家の迷惑を御察しの上萬事柔かに願ひます（中止聽願生）

下關期米　十九日前場

大阪株式特電　十九日前場

大阪商船　二〇三、九〇
日本郵船　二〇七、一〇
…　三二〇、〇〇

…り盛なる爲め甚だ不自然の商狀を呈し現物及び先物の値鞘多きこと、もに揚面も著しく淡渦に富み五日五圓十錢見當なりし竹の入れ…新粉出廻り期を控へて將來の程も殆ど測り難き情勢を示すに至れるが此れが主なる原因は本年は例年と事情を異にし市中在荷著しく…東京所の調査に係る内地在品は京濱間の倉庫内に七十五萬袋、東京側諸會社に九十萬袋、神戸倉庫に四…十萬袋、同地倉社内に五十萬袋、…目下の相場にては米價との比較上何れも割高なるを以て到底增加す可くも非ず故に現在三百萬袋の在荷は向ふ四五箇月ならざれば之を消却すること…損失を少くせんと勉むるを以て縱係なる可く市場は一般に五升出現の一致歩調となり目先き三百萬の在荷を控へては市場の將來も甚だ不安を伴ふ所なるを以て現狀を…麥買入れに對する態度も近來漸く…

クスリは……撰定が一番

何病に係らず藥の撰定が一番肝要なるに萬一非を誤たば飛んだ後悔を殘す……殊に

下痢腹痛の時ウカト粗惡らぬ藥劑を服用すると貴重な金錢を浪費するばかりか反つて病を重くし身體にも種々なる故障を來し危險此の上なし……故に

下痢腹痛には 柏村博士 ヘルプの撰定が一番安全

殺菌力絶大なる　下痢止胃腸藥

下痢の原因

●細菌が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定にも、又其注意せざるべからず
●然るに從來の藥劑は單純なる收斂劑にて消化と殺菌の作用ある物なし。
●柏村博士のヘルプは此等の缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且つ最も安全なり

ヘルプの特長

健胃、整腸、消化、殺菌、鎭痛、收斂、防腐等の諸作用を完備せる現代理想の腸胃藥

ヘルプ効能

●食過●食傷●水あたり●寢冷●時候あたり●冷腹●消化不良等より起る
△下痢腹痛　△吐瀉　△滿腹　△腹瓦斯を止め　△腸加答兒　△胃加答兒を治す

定價　弐拾錢　參拾錢　旅行用ポケット型　五拾錢　徳用壹圓　武圓半

東京日本橋區本銀町三丁目　本舗　津村敬天堂　振替東京八六四番
全國各藥店にあり

滋養強壯劑 レグモン

レグモンは多量の可溶性蛋白質と適量のカルチウム鹽類より成れる理想的蛋白製劑にして

京都醫科大學教授　森島醫學博士より有効滋養劑として推奨せられたる名譽ある滋養強壯劑なり

「レグモン」は單純なる強壯劑と異り、其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるが故に營養不給の結果衰弱せる人體に多量の滋養分を供給して血球素と骨質を增加し、筋肉を強め、心臓を強くし、又神經を強壯鎭靜せしめて、神經過敏を恢復し、漸次に骨質を改良強健ならしむるものなり、又レグモン中に含むカルチウム鹽は最も吸收せられ易きが故に現今專ら醫界に賞讃せらるゝカルチウムの霊妙なる強壯的作用を人體に與ふべき理想的滋養強壯劑なり。

醫學士山下付三郎氏（日本赤十字社病院）曰く

レグモンを多數の衰弱せる患者に試むるに速かに營養を恢復し治療期間を速かならしめ得たり、殊に其の服用し易きと連用して胃腸を害せざる等の點に於ても、從來外國より輸入せられたる滋養劑に劣らざるものとす。云々（東京醫事新誌所載の學術的報告の結論）

詳細なる說明書あり　無代郵呈す　全國知名藥店にて販賣す

定價　百瓦入 金壹圓貳拾錢　二百五瓦入 金貳圓貳拾錢　四百五十瓦入 金四圓五拾錢

發賣元　藥品製造 藥種賣藥　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店

昔　今

效能　逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す

效能で賣れる　ぜにふやく

大日本大阪高津　電話…

本家　七ふくや伊藤長兵衛

陸軍御用　元祖

人參エキス

滿天下の賞讃を博したる人參エキス

定價 内用　△七日分、金五十錢、△十四日分、金壹圓、△三十日分、金武圓　△四十七日分、金參圓、△八十五日分、金五圓、△百八十五日分、金拾圓

朝鮮高麗人參（官蔘 白蔘）直取引貿易商

人參エキス本舗　京城本町一丁目　電話一四八〇番　振替京城三五二一番　取引銀行百三十銀行　津村兄弟商會本店

京城本町一丁目　電話一八七〇番　津村兄弟商會支店

朝鮮 釜山大倉町　津村兄弟商會 釜山支店

京釜線 大邱驛前　大邱支店

大特約店　京城本町二丁目 山岸天佑堂　京城本町四丁目 木村藥舗　京城本町二丁目 北島藥舗

其他朝鮮全道四百十ケ所　日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候

品質優良藥效の顯著なる人參エキス

最新刊

朝鮮法制研究會編　縮刷 朝鮮法規提要　一、八〇
新約物語　野邊地天馬　一、五〇
縮刷 日本橋　泉鏡花　九五
史話と文話　萩野由之　一、八〇
●會社商店に必要なる 商法釋義　三浦菊三郎著　定價九十五錢
獨乙帝國敗亡　大日本文明協會　二、二〇
譯學要義　加藤咄堂　一、〇〇
史的文學 忍ぶ面影　青木武男　三、二〇
●京城管內圖　番地入　折特價一五十錢
小學校教授の研究
小てる順　太郎吉田　常良　一、七〇
西ツの暗號　加藤朝鳥譯　六五
●九種傳染病豫防軌範　定價十五錢　九五

京城本町　大阪屋號　電話六八四番　振替京城二、五七三番
（本店）東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山

詳細は本月六日の本紙を御覧

百圓呈進

りん病　ばい毒

帝國醫科大學院

淋病新主藥は治痲劑とし梅毒新主藥は驅梅内服藥として醫學上最有効と確定した第二にて皆擔配劑せる高貴藥あるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は百圓進呈

あらゆる治療をおすゝめかき患者に面度来談あれ

にせ物 にせドラッグ 東京其他各地にあり

大阪有田ドラッグ商會朝鮮本部　京城南大門外停車場通

支店　龍山、仁川、平壤、釜山、元山、大連

他の藥店に販賣を不許　京城龍山等各地に僞物有御注意

京城南大門外停車場通　大阪有田ドラッグ

阿部讓儀五月二十五日午後一時米國桑港ニ於テ客死致候ニ付來ル七月五日午後一時東京築地本願寺別院ニ於テ葬儀執行仕候此段謹告仕候

追而途中行列ヲ略シ生花造花等ノ御寄贈ハ辭退申上候

東京府大森新井宿一三八〇

女嗣子　阿部越路

親戚　山本玉藏　内田元久　土田政次郎　笠島勝次郎

總代　美濃部俊吉　井上準之助

友人總代　木村雄次　佐藤得四郎　津末良介

大阪商船出帆（仁川出帆）

神戶、大阪行　能登丸　六月　日　後五時出
元山出帆
大連出帆
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　宮島丸　六月　日　後九時出
西湖津、新浦、城津、淸津行　安平丸　六月廿四日　後十二時
上海、芝罘、打狗行　湖北丸　七月十日　前六時出
基隆丸　六月廿一日　後四時出
内地各港出帆主要航路

歐洲行　一年四回
南米行　一年四回
北米行　每月一回
濠洲行　每月二回
孟買行　每月一回
南洋行　每月一回

大阪商船株式會社仁川支店　電話二番・二〇五〇番

京城　切符發賣所　…

仁川京城切符發賣所　仁川本町二丁目　…　電話七〇八番

本京城南大門通　元山港海岸通　仁川港代理店　木浦港代理店　京城荷客取扱店　京城南大門驛前 松原運送店

朝鮮郵船出帆

○敦賀行　平壤丸　六月廿三日　淸津發　六月廿七日　元山發
○浦汐行　平安丸　六月廿五日　釜山發　六月廿七日　元山發
○雄基行　雄基丸　六月廿四日　釜山發
成鏡丸　六月廿七日　釜山發　六月廿九日　元山發　七月三日　元山發
○元山雄基線　穩城丸　六月廿一日　元山發
○大阪行　山陽丸　六月廿一日　元山發　六月廿三日　釜山發
○關門行　京畿丸　六月廿五日　元山發　六月廿八日　釜山發
成鏡丸　六月廿一日　元山發　六月廿五日　釜山發
○金剛山遊覽便　十月五ケ月間　行月六回
穩城丸　六月廿六日　元山發
○鬱陵島行　盈德丸　六月廿六日　釜山發
○濟州島行　昌平丸　六月廿六日　釜山發
○釜山浦項線　江陵丸、慶揚丸、每日釜山、浦港發
○濟州島行　東廻公州丸　西廻慶興丸　六月廿三日　六月廿六日　木浦發
○釜山麗水線　海州丸、巨濟丸、統營丸、每日　釜山麗水發
○木浦麗水線　順天丸　六月廿一日　木浦發
○多島海行　慶興丸　六月廿二日　木浦發
○木浦行　慶資丸　六月廿二日　仁川發
○海州行　錦江丸成歡丸每日一回仁川海州發
○鎭南浦行　晉州丸　六月廿三日　仁川發
○青島行　江原丸　六月廿二日　仁川發